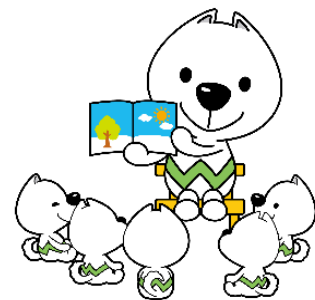


令和3年度 読書推進フォーラム

見て、聴いて、読んで、本の世界に親しもう！

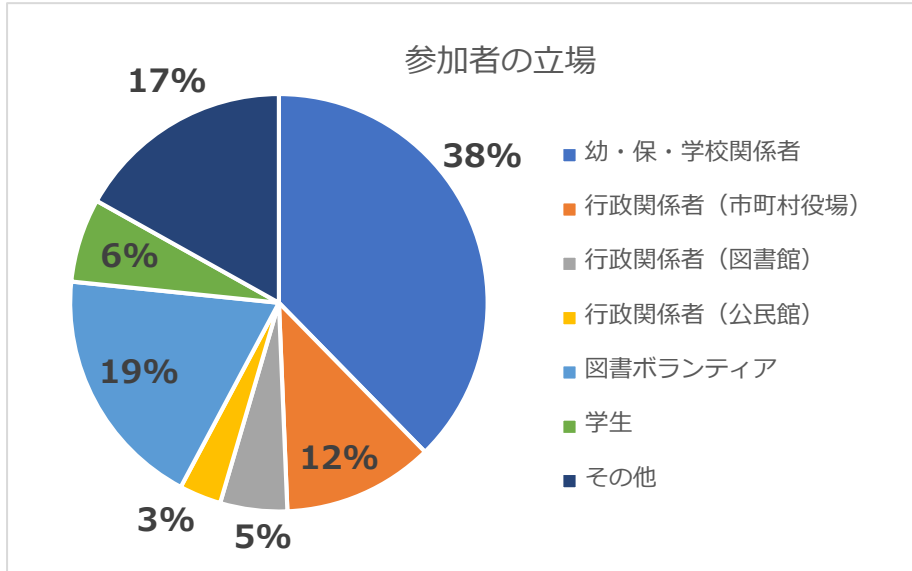
～人生を豊かにする読書との出会い～

アンケート集計



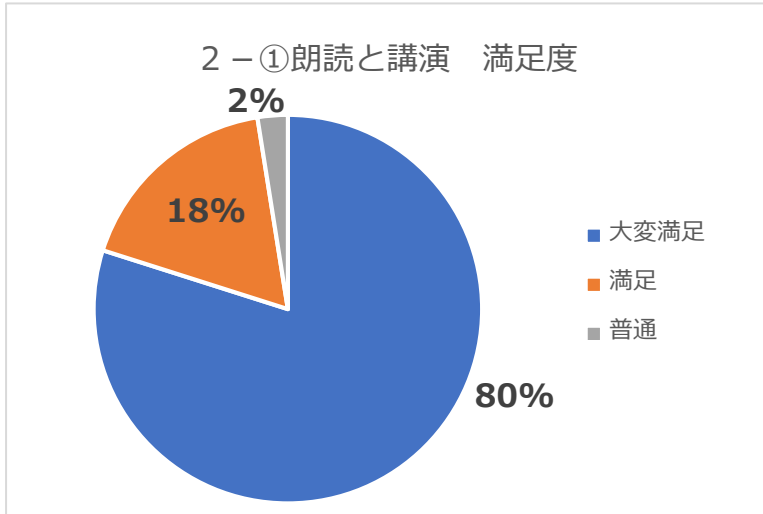
令和3年度 読書推進フォーラム アンケート

1 本日のフォーラムにはどのような立場で参加されましたか。



2 本日のフォーラムの感想をお聞かせください。

①朗読と講演



- 山根先生の朗読の世界に引き込まれました。
- 朗読教室で習っています。何もかも勉強になりました。素晴らしい朗読と講演を拝聴でき感謝しています。今後の人生に生かしたいと感じました。本当にありがとうございました。
- 本を読む環境がもっと普及したら良いと思った。
- 同じ空間に山根先生がいらっしゃって、じかにお声を聴けたこと、そして、ことばの力、本の力、地域の力、生き方について考える機会をいただけたこと、心動かされました。
- 本の大切さについてよく知ることができました。
- 冒頭の朗読は大変贅沢な時間でした。その後の講演にも多くの気づきがあり、参考になりました。
- 大変すばらしかった。プロの朗読はすごいと思った。
- 素晴らしい朗読、実際に聞くことができ良かったです。ありがとうございました。

- 大変共感できるお話で、良かったです。
- 朗読を生で聴けたことが素晴らしかった。読書が人間の成長にとってかけがえのない体験になるということがよくわかった。
- 言葉によって心を育てること、愛情のこもった声は生涯の支えになること、地域で育てること…etc. 大切な気づき、学びをいただきました。
- 主催されている読み聞かせでどのような活動をされているのか知りたかったです。
- 「言葉の力」「読書の喜び」ということを改めて思いました。
- 声に心がくっついてくる。読み聞かせの魅力はこれだと思いました。
- 心に残る大切なお話、ありがとうございました。
- 朗読ボランティアをしていますが、山根基世先生さすがでした。子供たちが納得できる人生を送るためにも、読書の大切さを推し進めたいと思います。
- 読書は五感を刺激して、記憶に残るということ。幸せは人間関係の良さによって得られるという言葉が印象に残りました。
- 素晴らしかったです。感動しました。
- 読書大好きですが、それをまわりに広める（特に子供に）大切さを改めて知る機会になりました。茨木のり子さんにも触れられて良かったです。
- さすがプロ！の朗読。引き込まれました。言葉の重さ・影響力、考えさせられました。言葉の危機、本当にそう感じています。会話しなくても成り立つ生活って…。
- 憧れの山根さんにお会いできて、贅沢な時間でした。本のお話にとどまらず、人とのコミュニケーションについて学べたのが良かったです。ネット社会により速さが求められ、考えることや丁寧に伝えることが疎かになれば、それが親と子のコミュニケーションにも良くない影響を与えてしまいかねる、というお話が響きました。
- 淡々と心に染み入る声で素晴らしかった。
- 「読書とは自分の人生を切り開いていく力を育て、言葉は幸せを呼ぶ良き人間関係を生む」という先生のお言葉どおりだと感じました。子供の発達の段階にあった言葉に立ち止まらせ、着目させながら言葉の力を上げたいと思いました。ありがとうございました。
- 読んでもらう、あげる、声には心を→声の大切さ。読書＝喜び・楽しみ。感謝→人間関係の良さ。「言葉の力」「感謝の心」「ごめん」「ありがとう」
- 大変納得させられる内容。良かったです。
- 声がとても良く、声には「心」がついているという言葉。なるほどと思いました。講演もわかりやすかったです。
- 心に響く講演でした。同じように感じた大人たちが、それだけで終わらないで欲しいと思います。
- 聞きやすく、話に集中できた。
- おもしろい内容で、声が聞きやすかった。
- 昔、授業で学んだ『ごんぎつね』が聞けて、大変満足でした。
- わかりやすい説明や読みの声が聞きやすかった。
- 人とより良い関係をつくっていくには感謝できる心が大切で、そのためには言葉が大切だとわかりました。また、読書を楽しんでいる姿を見せることが大切だと思いました。
- 話を聞いて、そういう考えがあるんだな、と思えました。
- 共感することが多すぎて、考えさせられた。
- 知っている『ごんぎつね』の話でしたが、改めて感慨深く聞かせていただくことができました。ありがとうございました。
- 本への関心をいま一度再確認できました。
- 読書の大切さがわかりやすく伝わりました。

- 朗読を聴かせていただき良質の時間でした。ご本人のエピソードもあり、活動への思いも伝わりました。
- 穏やかな音質の言葉で豊かな内容を伝えてくださいました。茨木のり子さんの本、読んでみます。
- 素敵な声でわかりやすくお話をしてくださいますね。
- 良い人間関係を築くために、楽しんで読書する体験をとおして、言葉の力を育てていくことが大切ということ学びました。
- 声がとても良かったです。
- 「読む喜び、聞く幸せ」に込められた想いを深く学びました。本当にたくさんのことを学ばせていただきました。
- 今日来ることができて本当に良かったと思いました。今日のお話をぜひとも多くの人に伝えたいと思います。また、これからの私の生き方にも生かしていきたいと思います。
- 楽しい本を読んでいます、それで良いのだと思いました。そのことを子供たちにも伝えたいと思いました。
- 生で山根基世さんの朗読を聞くことができ、非常に感銘を受けました。
- 読書の力、人に説明できる言葉をいただきました。
- 生きてゆく上で大切な言葉を言えるかどうかで人生が変わる、地域の多くの人たちの中で子供たちが言葉を学ぶ仕組みづくりが必要、心に残った言葉のひとつです。
- 『ごんぎつね』の朗読を生で聞いて感動しました。これからもできるだけたくさんの本を読むことと「心から沁み出る声」を大切に話していきたいと思いました。
- 「読書は何といても楽しいもの」という話を聞き、読書文化を根付かせるにはこの視点が欠かせないと感じた。保護者として、小学校で行われている多読者表彰の取組に違和感を持っていたので、（多読も素晴らしいが、冊数を競う競技化？の懸念）、お話を聞いてよかった。
- 朗読、とてもよかったです。優しい声で、穏やかな調子で読んでいただき、新見南吉の世界を表現されていて、素晴らしかったです。講演でも、子どもが自分で自分の人生を切り拓いていくために大切な話し言葉の獲得の重要性と、それを育てるために学校・家庭・地域の連携の必要性を改めて考えさせてくださいました。
- 孫への読み聞かせを続けたいと改めて思いました。椋鳩十シリーズお気に入りです。
- 読書の喜び、楽しみを子供たちに伝えることが大切だと思いました。
- さすがアナウンサー、15:00 どんぴしゃりに終わる。いろいろなお話を聞かせていただきありがとうございました。「ことばの力」の大切さが印象に残りました。
- 人が個として自立するために感謝の心を持ち、それを表現することの大切さを学んだ。そのためには、読書が重要な役割を果たすのだと実感した。
- 初めて直接朗読を聞かせていただきました。大変感動しました。先生の小さいころの経験をふまえてのお話ありがとうございました。
- 感謝力、興味深かったです。
- 語りのうまさ。
- 言葉の力、声の力、地域の力、山根さんの第一声から引き込まれました。
- 「読書は身体の喜び（悦び）をはらんでいる」という話が印象的でした。
- 朗読の声のトーン、スピード等すべてにおいて心に沁みました。感謝という大切なことも伝えていきたいと思います。
- 声がとても良くて聞き入ってしまった。
- 素敵な朗読で『ごんぎつね』の世界に引き込まれました。ありがとうございました。
- 朗読とっても良かったです。静かなのに、心が動く時間でした。
- 朗読素晴らしかったです。
- 「ことば」は大事なことが具体的によく分かり、納得できました。日常でもできるだけ言葉を豊かに使っ

ていきたいと思います

- 朗読に引き込まれました、とても良かったです。
- 幸せに生きるために身につけておくべき感謝の心、素直な心など、人間関係を作るために朗読が有効なことを改めて感じました。
- よりよく生きるために大切なこと等を学ぶことができた。
- 地域で子供を育てる。本当にそうしなければと思っています。これからは、地域の力ですよ！
- 良き人間関係は言葉の力から、声の力も良い人間関係をつくるものだと思います。心に残る声から勇気づけられることもあると思います。
- 普段深く意識せず使い、耳にしている「ことば」の力や素晴らしさについて認識を深めることができました。研ぎすまされるような気持ちとワクワクするような気持ちを同時に体験させていただきました。
- 絵本の力、よくわかりました。ずいぶん前に読んだ『お母さんの声は金の鈴』もう一度読み返そうと思いました。
- 声は人間性を表すということ、本当にそうだと思います。
- 子供たちに読書を進めるには、自分が楽しいという喜びをそのまま伝えれば良いのだと思った。
- 素晴らしかったです。紹介された本は読んでみたいと思いました。これからも子供たちに絵本を読み続けます。
- 素晴らしい朗読でした。映像が浮かんでくるようです。本のもたらず喜びがよく伝わってくる講演でした。
- 『ごんぎつね』は今まで何度も読んできたけれど、聞き手になるとまた違った印象・感想を持つものだと思います。
- 「声の裏側には心がくっついている」にとっても納得し、共感を覚えました。
- 朗読はとても心地良く、『ごんぎつね』の世界に引き込まれていきました。講演では、日頃自分自身が大切にしていることをおっしゃってくれたので、とてもうれしく思いました。
- 読書によって自分らしい人生を切り拓く力を養うことができる。その力と事例を聞かせていただき、どのようにしたら読書を広めていけるか考えをめぐらすことができました。
- 朗読を生で聞いたことがなく、内容も知っているお話と少し違っていたので、興味深く味わうことができました。
- 『ごんぎつね』はさすがに素敵でした。
- いつも読み慣れている本とは違った本でした。とても素敵な読み聞かせで、さすがプロは違う！ 心の中にずっと入ってきます。
- 声には必ず心がくっついてくる、との言葉が印象に残りました。
- 講演の内容は、私が現役保育士だったときに読み聞かせで感じていたことと同じでした。子供に絵本を読み聞かせをするとき、自分もその世界を楽しめ、その時の自分自身が好きでした。絵本の研究発表をしたころを懐かしく思い出していました。「絵本は心の栄養に」ですね。
- 山根さんの考え方を知ることができ良かった。「声には心がくっついている」には同感！
- 朗読を聞いて、幼いころ祖母に話を聞いたことを思い出しました。「聞く幸せ」、聞いて感動体験できました。
- 朗読、とても心地良く聴かせていただきました。読書は受容するだけでなく発信すること、コミュニケーション能力を高めること、いろいろなことを教えていただきました。
- 多様性、選択肢の多い現代社会を生きていかなければならない子供たちは大変だと思います。お話を聞いて、自分らしいと納得できる人生を歩めるように、読書が大切なのだということがよくわかりました。
- 『ごんぎつね』は馴染みのあるお話ですが、読み手によってこんなにも感じ方が変わるものかと感動しました。『お母さんの声は金の鈴』、子供のことを思う人であればだれでもお母さんという言葉に共感しました。

- 子供に声で話しかける大切さを改めて認識できました。講師が素晴らしく、何時間でも聴いていたいと感じました。
- 山根様の表現豊かな声色による朗読と自身の体験談を交えた講演を拝聴することができ、言葉の力を改めて認識した。
- 山根様の朗読を会場で聞いてみたかったです。私も『ごんぎつね』を読み聞かせで勉強していましたから、すごく心に沁みました。
- 読書は人の心を豊かにする、人を幸せにするものだというお話に改めて感動しました。わかっているながらも、どうしても国語力が身につくというような固定概念があったように思います。
- さすが、素晴らしい『ごんぎつね』の朗読でした。講演の内容も、読書好きの子供を育てるヒントがたくさんあって、興味深かったです。
- 所用があり 1 時間程度しか聴講できず残念。『ごんぎつね』は 5 年位前に朗読勉強課題だった…まだ死が判っていないと先生に指摘され人間性が声に出ると思い知らされた作品でした。朗読は心を伝えるもの。もっと頑張らねば！ ありがとうございます。
- 「生身の人間と見つめあい、言葉を交わす」との言葉に大きな共感を感じました。
- 初めてお目にかかりました。生きていくうえで何が大切か、経験の中から教えていただきました。3 人の子供たちにはそれぞれ子供ができ、孫は 11 人になりました。ずーっと自分の子育てについてああすればこうすればと思って過ごしていました。
- とても素敵な朗読を聞かせていただきました。ありがとうございます。子供たちには自分の人生を切り拓いていく力を養えるよう、何か力になりたいなと思いました。
- 読書・ことば…そして地域コミュニティの力。親子のつながり、椋鳩十や新見南吉のことなど大切にすべきものや県教委が推進するテーマを見事に結集された講演でした。企画していただきましたことに感謝申し上げます。
- いろいろな感動的言葉を伺えて良かったと思います。ありがとうございます。「ありがとう、ごめんなさいを言えて、人の心に寄り添えるひとになる」ことが子供の成長に欠かせないこと、そのために読書の持つ力を大切にしたいと思います。
- 山根先生の『ごんぎつね』を拝聴できて、とにかく感激しました。オンラインでしたが、権狐と兵十の心や、その変化がひしひしと伝わって来て、頭の中に 3D で立ち上がる映像…。一編の映画を観るようでした。ドン！という場面では、パソコン画面から波動が伝わってきました！驚きです。声の力で相手の心を包むということがどういうことか、自分自身で経験できました。物語を語ることは幸せを祈ること、と受け止められました。（先生の御活動は、それ自体がまるで「祈り」のようですね。）
- 私自身は特別支援学校の教員として、絵本の読み聞かせをすることの多い毎日です。これからも目の前の子どもたちが幸せに生きていけることを願いながら、読み聞かせをしたいです。
- 貴重な山根先生のお話を伺う機会をいただきました。ありがとうございました。"
- 朗読も勉強になりましたし、講演もたくさんの知識を得ることができました。
- 講師先生ご自身の生活体験経験から言葉を獲得し育て使うということが見えてきて感動しました。
- 穏やかな語り口で幸せなひとときでした。講演は、あっという間でもっとお話聞きたかったです。
- なぜ子供に読書が必要なのかをわかりやすく説明いただけました。
- 先生自身の子供のころからのご経験も交え、大変広い視野でのお話をお聞きすることができ、勉強になりました。また、プロの読み聞かせは、素人のそれよりもあっさりと読んでいるようで、深い味わいがあるのが、本当に素晴らしいと思いました。
- 山根さんの朗読、講演素敵でした。読書の楽しみをどんどん生徒に伝えていきたいと思います。ありがとうございました。
- 大変参考になりました。納得の内容でした。
- 幸せになるには、人間関係が大切なこと、生きる力を読書から得られ、考える力を生み出すことができる

ことを再確認した。

- NHK 時代から山根さんの語りに注目していました。スマホ時代が及ぼす言葉の危機は、読書を通じて克服していかなければならないと思います。
- 人の心に寄り添い、人を理解できる子供を地域で育てる、見守ることの重要性を感じました。朗読は、声の力を感じました。目を閉じて朗読を聞いていたのですが、頭の中に、ごん達の動きが浮かんできました。『ごんぎつね』の朗読に幼いころのことをいろいろ思い出しました。相手を思う心が声、言葉となることを再認識しながら、心豊かな幸せな時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
- 朗読はとても聞きやすく、素晴らしかった。朗読講座に参加させてもらいたい。
- 「声の裏には心がついている」とても良いお話でした、そしてお話しくださるお声がとても耳に心地よいのは、お心がついていたからなのですね。『ごんぎつね』朗読で初めて聞かせていただきました。とても悲しく、幸せな気持ちになりました。ありがとうございました。
- 朗読は素晴らしかった。「声には心がくっついてくる」「心がにじみ出てしまう」ということを肝に銘じて、絵本を選び読み聞かせの場に臨まなければならないと思いました。
- まず、『ごんぎつね』の素晴らしい朗読を聞くことができ、大変うれしく思います。講演、シンポジウムを通して、「言葉の力」は、「考える力」であるとともに「人との関係を結ぶ力」であることを痛感しました。自分自身の読書生活についても、純粋に楽しみたいと考えます。また、子供たちが「よき社会の形成者・構成者」として活躍ができるよう、私に何ができるのかをよく考えたいと思います。
- 山根様の朗読に感動しました。声の力と言う言葉がございましたが、本当に読み聞かせでしか味わえない感覚を実感しました。ありがとうございました。
- 言葉には心がくっついていてと話されていたが、自分自身のこれまでを振り返りながら改めてそう感じる時間を与えていただいた。
- 読書は自分らしいと納得できる、幸せな人生につながる。とのお話の中で、「幸せ」という漠然とした言葉が具体化されストーンと心に落ちました。
- ご自身の幼いころの思い出も交えた本との関わりについてのお話が印象的でした。
- 体調不良のため、オンラインで視聴していたが、小2の息子が私の様子を見に来て、『ごんぎつね』の朗読にずっと聞き入っていました。もちろん技術もそうですが、山根氏の心の声を聞かせていただいたようで感動しました。
- 本と出会うかどうかで、人生が変わる、という内容が強く心に残りました。今 2 児の子育てをしていますが、子どもの言葉の吸収力に驚く毎日です。絵本から、自分の感情や欲求を表す適切なフレーズを吸収し、それを活用しながら人間関係をつくり上げていく。そうやって、知識を得るだけではなく、人と人をつないでいくのに読書習慣が影響するのだと感じました。
- すぐお話がわかりやすく、どうして読書が大切なのが納得できました。良いお話をありがとうございました。
- 「聴くことも読書だ」という言葉が印象的でした。肉声で語ることとそれを聴く機会が子供にも大人にももっとあればいいと思いました。
- 自宅に来客があり、朗読の全てを聴くことができませんでした。できれば配信してほしいです。経験をもとにいろいろなことをわかりやすくお伝えいただけで良かったです。
- 「声に心がくっつく」なるほどと思いました。誰かに本を読んでもらう素晴らしさはこの点にもあるのですね。「ネット言葉があふれていて、世界の言葉が変わっていく」「即反応で熟慮、推敲、検証が疎かになる」とおっしゃられたことも印象に残ります。それだけに、文字とふれあい、読むことによって学んだり考えたりすることの大切さを再確認できました。この相反するかのような2つの世界ですが、読書の楽しさを子供たちに感じてもらいたいと改めて思いました。
- 朗読に引き込まれていました。山根さんの一語一語の言葉が醸し出す雰囲気には酔っていました。このプログラムを見せていただいただけで今日は満足だと感じていました。

- とても勉強になりました。オンライン配信で見ることができて良かったです。
- 本をじっくりと読むことを通して、自分との対話をするんだなと感じました。じっくりと対話することができるのは、デジタルではなく、本の良さだなあと改めて感じています。
- 声に心がくっついてくる。山根さんのワールドが、シャワーとなって舞い降りてくる。心に残る朗読を聴かせていただきました。人と心を通い合わせることができる、読書、地域の環境を大人が責任を持ってつくることで、未来の子供が豊かな言葉を獲得し、地域の中で関わりを持ちながら幸せに暮らしていけるのだなあと感じました。
- 何かの力を身につけるためではなく、子供たちが幸せな人生を歩むため、というお話が印象的でした。
- 読書＝自分の読み、ではなく、読み聞かせを活用することで読み深められる、感じ方が広がることがわかりました。
- 山根さんのお人柄が滲み出ていた朗読でした。ごんぎつねが撃たれる「どん」という音が印象的でした。大袈裟に抑揚をつけているわけではないのに、ずっとお話に入り込め、終わった後の余韻も感じられました。幸せな人生とは…改めて自分の人生、子供の人生を幸せにする方法を考えていきたいと思います。
- 『ごんぎつね』の語り方が大変勉強になりました。声には人間性も表れる・・・、自分の人間性を改めるところから始めないと、と思いました。
- タメになる、宝ものになることばにたくさん出会えました。
- 久しぶりに山根先生の『ごんぎつね』を聞く事ができて、とても幸せでした。講演も素晴らしかったです！ やまねっこの末端の一人でいられる事、改めて誇りに思いました。
- 山根基世さんの『ごんぎつね』は素晴らしかったです。初稿の朗読で景色や空気感が一層心に沁みしました。講演も今の活動につながる貴重なエピソードで興味深かったです。地域の力で子供のことばを育てたいという志が、お話にこもっていました。
- 久しぶりに朗読を聞かせていただきました。ありがとうございました。物語の情景がイメージできましたし、登場人物の感情も理解できました。最後にごんが撃たれたときは涙が溢れてきました。自分が読んだらこんな気持ちになるのかなあ、と思いました。講演の中での「言葉の裏にはその人の心がある」という言葉がグサリと刺さりました。
- 講演は山根さんの「私」を例に挙げ大変意味深い内容でした。感銘を受けました。
- 山根さんの息づかいがオンラインでも伝わってきて『ごんぎつね』の世界が目の前に拡がりました。目を閉じて聴く喜びを味わいました。山根ワールド、素晴らしいです。講演では、山根さんご自身の読書体験が印象に残りました。幼少期の読み聞かせでの母親の声、少女時代に夢中になって読んだ本、その全てが山根さんの朗読の豊かさにつながっていることを実感できました。声のちからを信じて、子どもたちに向けて活動する大切さも伝わってきました。
- 「人の幸せは良き人間関係に尽きる」そして読書が人と心を通わせることができる力（言葉）を育む…という話が印象的でした。
- 山根さんの「家庭・学校と共に地域で子供を育てる」というお話に合点がきました。
- 山根先生の誠実なお人柄が良く出ていて、朗読も講演もずっと心に沁み入りました。
- 私が、読み聞かせボランティアをしようと思った原点。それは、子供たちが本と出会い、その楽しみを知り、人間関係を築く上で、大切な何かをつかみ取ってほしい。そのために、読書の習慣をもってもらいたい、という思いからでした。今日の講演をお聞きして、その気持ちに自信が持てるものとなりました。これからも活動を続けていきたいと思います。
- 新美南吉の『ごんぎつね』、どこか懐かしい、牧歌的な記憶や情景が蘇りました。冒頭から一気に物語の世界へ引き込まれました。「声」で本を読むというのは、「目」で活字を追うのとは、違ったテイストがあるのだなと感じました。山根先生のお人柄が伝わる、見事な声の力でした。感謝感謝です。
- 山根先生の大変興味深いお話を拝聴させていただきました。「読書体験」というものは人の中に残り続け、摂取した物語や言葉がきちんと栄養となり、子供やわたしたちを成長させてくれるのだと改めて感じ

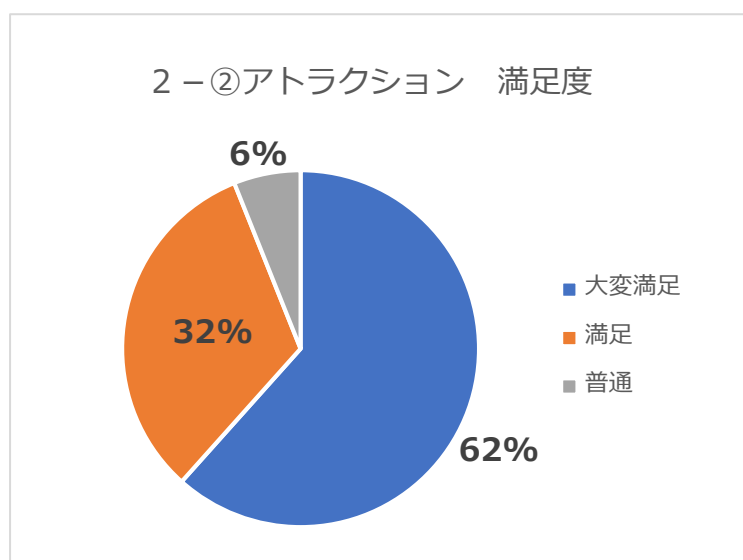
ました。義務教育のなかにいる子供たちだけではなく、すでに成人している世代にむけても「本を読む」ということがその本人や人生を"豊か"にするかを知る「きっかけ」づくりが大切だと思いました。貴重な読み聞かせまでありがとうございました。

- 『ごんぎつね』は、よく知っていますが初めて聴く内容でした。方言なども入っていて、興味深かったです。本と出会うことが大切なこと、そのきっかけやタイミングをいかにつくっていくかということが必要なことなのだと感じました。
- 山根アナウンサーの声、話し方、言葉がとても聞きやすく、心地よかったです。日本語を大切にしたいし、読書を通じて考える力や自分の思いを伝える力をつけていきたい。そう思いました。
- 曝書期間中のため、作業があり、音声のみ、拝聴しました。『ごんぎつね』の語りは、情景や登場人物の心情を想像でき、ことばが生きて、物語を奏でているような感覚を体験しました。心地よく幸せな気分が残りました。講演をお聴きし、読み聞かせや本、読書体験について語られる言葉に共感し、納得、たくさん示唆をいただきました。
- 先生の朗読は情景や感情がわかりやすく想像でき、最後はホロリときました。講演でも大変良いお話が聞けて、大満足でした。貴重な講演を聞く機会をいただき、ありがとうございました。
- とても心に沁み入る『ごんぎつね』を拝聴できましたことに感謝いたします。また、講演で、少女時代のお話の中の、本を読んでいる時は何もかも忘れられた、という所に自分の少女時代と重なり、雲の上の方と思っていた山根様が、自分の側でお話してくださっているように感じられ涙が溢れました。それは、山根様の心から発せられる声に乗った言葉だからと思いました。朗読と講演、2倍も素敵な時間を本当にありがとうございました！
- 形ある「本」の持つ力、子供時代に触れることでそれがどれだけその後の人生に影響を与えるかが改めてわかりました。朗読する「ひと」の力を体現して下さり、感動いたしました。学校と家庭では子供は育たない、全くその通りで地域ネットワークが今後も鍵になると思いました。山根さんの語り口調がやさしく、かつ説得力があり素晴らしかったです。
- 声に心がついてくる、ということばが心に残りました
- そもそも「なぜ読書が大切なのか」を改めて考える機会となり、非常にありがたかったです。今度子供に尋ねられたときは、自分なりの言葉で答えられるよう、今日のお話を反芻しながら考えてみたいです。
- 聞きやすく、実体験等に応じた内容等、心地よかったです。
- 朗読は心に沁み入りました。講演は考えさせることが多々ありました。読書の大切さ、人となりや声に表れることがキーワード。
- 山根先生の朗読は本当に暖かく癒されます。
- 講演の内容もいろいろ考えさせられ、子供たちのために私も何か行動を起こしたいと思われました。
- 山根先生の朗読に触れ、人に物語を語ってもらう時間の豊かさを改めて感じました。「読み聞かせ」という疲れた大人にも響く幸せな時間を、日本の恵まれた子供たちだけでなく、世界中の様々な環境にいる人々が味わえる平和な場所を、つくり保ち続けなければ…と思います。先生のご講演内容も、子供の幸せ・読書の楽しみと大切さ・活字についてなど多岐に渡りながら、一貫して未来を生きる人を育てる希望のこもったもので、拝聴した後に私もまたがんばろうと思えるものでした。今、中学生の現場にいます。先生のお話を伺いながら、自分の読書体験を思い出し、(幼少期はもちろん母に導かれたものでしたが)中学生の頃の読書が自分の性格や行動の原点になっていることに思い至りました。職場に感謝しながら心を込めて臨もうと、また明日からの勤務の活力を得ることが出来ました。ありがとうございました。
- さすがにプロの朗読は違うなあと感じました。その上手さにはとても及びませんが、自分のできることをやっつけていこうと思いました。
- 声には心がくっついている。言葉というのは幸せを呼ぶ人間関係をつくっていく。読書は自分の人生を切り拓いていく力をつけてくれる。という言葉が心に残りました。私は先日、父を亡くしたばかりです。『ごんぎつね』の最後の場面、「ごん、お前だったのか…」の台詞に涙が出ました。父がいなくなって初めて

その大きな愛に気づいたように思っています。ありがとうございました。

- 小学校教諭ですが現在育休中で、二児の子育て奮闘中です。今回 Web で参加させてもらいましたが、山根さんの講演を聞かせてもらえてよかったです。これまで「読み聞かせや読書をするのは、子供の心の成長にとっても大事。頭が良くなるには読書が大事。」という話は聞くことがあり、読書に対して漠然と良いものというイメージを持っていました。それが講演の中で「読書をする事で、言葉の力がつき、その言葉の力があると良い人間関係が築けて、それが人間の幸せにつながるんだよ」というお話を聞き、読書推進を進める答えがここにあるのだとわかりました。また、「声には感情がのる」とお話ありましたが、山根さんは講演で、まさにそれを体現されていました。本が好きで教養深い方のお話は、出す言葉に厚みがあって、聞く人の心にこんなに響くんだということを実感しました。あんなふうに話せたら素敵だなあ、自分も近づきたいなあと思いました。もともと本を読むことは好きな方ですが、これからも、もっともっと読書を楽しみたいと思います。
- ご自身の体験談を語っていただいたため、単に読書の重要性を伝えるより、読書が人生と関わっているということがよくわかりました。

②アトラクション



- 紙芝居の演じ方がとても参考になり、楽しかったです。
- 紙芝居の演じ方など、大変興味深く聞かせていただきました。
- 大人の私も自然と笑顔になり、気がつけばお腹から笑ってました。はやく見たい、もっと見たいと思う仕掛けがたくさんありました。コミュニケーションの仕掛けについて考えることができました。
- 紙芝居は久しぶりでしたがとても楽しかったです。
- いろいろな仕掛けがあり、楽しかったです。
- 紙芝居の概念が変わりました。紙芝居って奥が深いですねえ。
- とても楽しかったです。
- 紙芝居の奥深さがわかりました。子供を惹きつけるコツなども盛り込まれていて、とても参考になりました。
- 言葉によって、心をつなげる、感情や気持ちの触れあいをする機会をつくること、その豊かさを体感させていただきました。
- このようなパフォーマンスを和歌山の学校現場でもやっていただきたいです。教員が学べばそれを子供たちの前で行うこともできます。

- 楽しい幸せな時間をすごせました。
- 紙芝居を自分でも演じたくくなりました。
- 楽しいひとときでした。
- 自分が紙芝居を演じるときに、いろいろと参考になりました。おもしろかったです。
- 紙芝居の歴史や演じ方、どれも初めてのことで、自分も演じてみたくなりました。
- 演者と聞き手が一体化して効果が見える。
- 楽しかった！紙芝居は奥が深い！
- もう少し時間があれば…。またの機会に期待します。現場での実践に勉強させていただきました。
- 我が子に本を読む際のコツがたくさん！タメになりました。「ジュース」と言われればジュースを出してしまっていたのですが、これからは、「ジュースをどうしてほしいの？」などと子に聞くことによって、将来的に家族以外とのコミュニケーション・共感力を育むことにつなげていけたらと思います。（夫も「ソース」などということも多いので、大人同士の会話も気をつけていかなばです！）
- 紙芝居の演じ方、目からウロコでした。舞台・拍子木、必要ですね。演じる！
- テンポよく、あっという間のアトラクションでした。紙芝居に入る前に子供たちの「聴きたい」という環境を整えること（子供とのやりとりの中から言葉を取り上げて返すなど）心を通わず言葉や声のあり方を学んだような気がいたします。
- 紙芝居＝演じること
- 楽しい紙芝居良かったです。指導方法への一助を示されていましたね。
- 絵本の表現がとてもワクワクした。
- 飽きなかった。とてもおもしろかった。
- 自分たちも参加できて楽しかったです。
- 紙芝居がおもしろく、演じる時も工夫がされていておもしろかった。
- 今まであまり紙芝居になじみがありませんでしたが、日本発祥であることや、演じ方を教えていただき、おもしろいと感じました。
- 楽しませてもらえました。
- とにかくおもしろかった。
- 紙芝居って淡々とするのではなく演じるということを目の前で感じることができました。楽しく、体を動かすのも素敵でした。
- たかが紙芝居ではなく、されど紙芝居だと感じた。
- とても話が聴きやすくて良かったです。
- 紙芝居を自分でも演じたくくなりました。演じる基本や楽しさを伝えていただきました。
- 紙芝居楽しかったです。もう一本見たかったなあ。演じ方、参考にさせていただきます。
- 楽しく、人を引きつけますね。
- 紙芝居は絵と言葉が噛み合うように作られていることを初めて知りました。子供たちが楽しんで紙芝居や絵本を味わうためには、演者や読み手の工夫が必要だと学びました。
- 紙芝居を演じる時のコツがわかりやすかった。
- 子供の心をつかむ仕掛け、工夫がとても勉強になりました。
- 楽しく見せていただきました。話し方、さすがだなと思いました。
- 私も紙芝居を演じてみたいと思いました。
- 子供の楽しめる紙芝居についても、とても具体的で、タメになる助言をいただきました。
- 紙芝居、子供の前でやってみたくくなりました。
- 紙芝居の魅力に改めて気づくことができました。楽しかったです。
- とても楽しい紙芝居でした。『みんなでたいそう』自分もやってみたいと思いました。観客を惹きつける工夫が大切。

- 紙芝居のもつ楽しさから、お話の楽しさや、山根氏の言っていた「声」の力を大変感じた。話の中に入りこんでその世界を味わえること、というのも読書に通じる魅力だと思った。
- とても楽しかったです。言葉の間や強弱で、思いを伝えることができることを学びました。
- 紙芝居と曲芸楽しく引き込まれました。
- 紙芝居、おもしろいですね。舞台が必要、いいこと知れました。
- ワクワクしました。
- 紙芝居、すごく楽しかったです。これからも子供たちのために頑張ってください。
- とても楽しい紙芝居でした。
- 紙芝居の世界の深さを知り、引き込まれました。
- 3歳の子供（息子）が図書館で紙芝居を借りてきて、読んでほしいとよくせがまれます。今後は、もう少し丁寧に読んでいきたいと思います
- 読み聞かせが再開できたら、教えていただいたことを実践してみたいと思います。
- 紙芝居はとてもおもしろかった。
- 楽しく拝見させて頂きました。
- 何度も読んでいる紙芝居…全く違い、驚きでした。すごしでもマネしたい！！めっちゃくちゃ楽しかったです。
- 紙芝居の演じ方を教えていただきたいと思いました。
- 「紙芝居は演じる」という言葉通り、本当に演じるものだと思いました。演じると言いながら、読んでいました。アクション的に子供たちを惹きつける力があるように思いました。
- とても楽しいひとときでした。紙芝居を演じる参考になりました。
- 楽しいパフォーマンス、参考になりました。
- 紙芝居の楽しさを知ることができた。
- 大学の教員をされながら、すごいですね。
- 子供に集中させるためには、始める前の遊び（つかみ）も大事だということがよくわかりました。大人でも同じで話にすぐに入るのではなく、それまで惹きつける、リラックスさせることも大事だと思います。
- 紙芝居は「演じる」ものということがよくわかりました。子供がきつとりこになると感じます。
- 紙芝居にもいろんな演じ方があるのですね。私たちの割合静かです。でも『みんなでたいそう』は子供も大喜びすると思います。
- とても楽しく観させていただきました。
- 紙芝居を演じる機会があるので、なるほどと参考になりました。
- 子供が何か言ったらリアクションをすることは、そのとおりだと思った。
- 紙芝居を演じるとき、どこまで演じて良いのか迷いながら取り組んでいましたが、もっと演じて良いのだと思いました。
- 場のづくり方、紙芝居の演じ方について勉強になりました。
- 絵と言葉を噛み合わせることで、より作品の中に入っていけると学びました。
- 紙芝居の世界を楽しませてもらいました。特に、子供たちが聞きたくなる環境を整えるのが大人の責任、という言葉が印象に残りました。
- 楽しい気持ちになれました。言葉のもつ意味について考えることができました。
- 紙芝居を演じることはなかなか大変なことだと思いました。
- 紙芝居のワークショップをお願いしたいです。おもしろ楽しく演じていて良かった。
- 楽しいひとときでした。紙芝居を演じるのは一人ひとり個性が出るのですね。大道芸はすごかったです。
- 楽しかった。子供が人と関わりながら楽しい時間を過ごせるように！
- 久しぶりに紙芝居を鑑賞しました。紙芝居は演者の話術が大切であり、言葉の力について改めて考えさせられました。

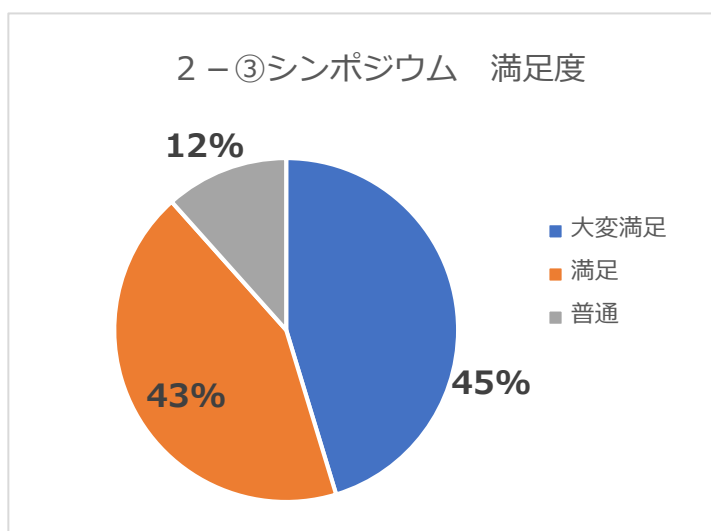
- 時間の関係で割愛された3本目の紙芝居も聞いてみたかったです。
- とても楽しいひとときでした。塚原様の場を巻き込む力は社会教育にとって大変重要なことだと思うので、お手本にさせていただきたいです。
- 紙芝居を通じて、どうすれば子供の興味を引くか、よくわかりました。講演同様、とても楽しく、もう少し時間があっても良かったと感じました。
- 紙芝居だけではなく、前段に豆知識や大道芸を披露していただき、最初から最後まで飽きることなく楽しむことができた。
- 道化師のアトラクション、すごかったです。紙芝居のことをきちんと教えてくださり、知らなかったことばかりでとても勉強になりました。
- 紙芝居は演じるもの、舞台が必需品であること、演じる前の導入が大切だということなど、楽しく教えていただき、すぐにでも実践出来る内容で役にたちました。
- 紙芝居の魅力が伝わってきました。自分の活動の中でまだまだ勉強が必要である、とスタートに戻り取り組んでいきたいと思いました。
- 紙芝居の演じ方に違和感を覚えた点は(1)作品世界を観客に伝えるより演じ手のパフォーマンスが優先されていること、(2)作品の「抜き差し」の時間の余韻、大切さが無視されていることです。
- 私も日々子供たちの前に立つ立場として、非常に共感しながら、素晴らしいパフォーマンスを楽しませていただきました。山根先生の理念をどのように実践に落とし込んでいくか、日々悩んでいます。今日、塚原先生のパフォーマンスのご指導から、伝えるということは、やっぱりこういう具体的な実践やテクニックなんだな…と実感しました。
- 子供たちの前で紙芝居をする事もありますが、塚原様の実演を見せていただいて「演じる」ものだと改めて実感しました。やはり難しいですね。
- やっぱりすごいな、演じるということが少し分かりました。
- 惹きつける話法や工夫があり、実例でよくわかりました。オンライン試聴だったので聞き手の反応がわからなかったのが残念です。
- 迫力ある紙芝居が楽しく、子供の惹きつけ方の参考になりました。
- 人間性あふれるトークとアトラクションは、本当に、先生の生き様のすべてだと思いました。そういった体当たりのアトラクションを拝見でき、とても元気をいただきました。
- 「よみかたり」の勉強になりました。楽しい講演でした。
- ただ演ずればいのでなく、子供を惹きつけることの大切さを学んだ。
- 紙芝居の極意に気づきました。
- 紙芝居は世界に誇る文化です。作り手、描き手、演者がもっと増えるといいなと思います。
- 紙芝居と遊び心を満喫させていただきました。童心に返って本当に楽しい時間を過ごさせていただき、コロナに疲れた心に元気をいただきました。本当にありがとうございました。
- 紙芝居の演じ方を学んで、お話し会に活かしたい。
- やはり、自分で演じるより観せていただくのが一番ですね。体操の紙芝居、とてもおもしろくて、私も機会を見つけてしてみたいと思いました。楽しかったです。
- なぜすぐに始めてはいけないのかがよくわかりました。紙芝居の抜き方の大事なことも演じていただいて違いがよくわかりました。
- 紙芝居について、たとえ8場面という短いものであっても、熟練の実演家によるものであれば、大変重厚なものに感じられました。
- 塚原先生の子供を惹きつけるポイントを学ばせていただき、私たちの仕事にも活かそうに思いました。ありがとうございました。
- 小さいころ公園へ来ていた紙芝居のおじさんを思い出しながら拝見した。一枚一枚の絵にぐっと引き込まれながら、芝居、舞台という言葉の意味を再確認した。

- とても楽しかったです。楽しいだけでなく、大人は人の違うところを指摘するというお話にはドキッとしました。指摘して正していく事が育てていくと思っている大人は多いのではないのでしょうか。人との違いを活かす、オリジナリティという言葉がとても心に残りました。
- 一度聞いたら忘れない語りです。インパクトがとても強かったので子供との関わり方の参考になりました。導入部がもう少しコンパクトだったらより良かったように感じました。
- アトラクションは会場にいてこそ。あまり現場の空気が伝わってこなかった。
- オンラインでの参加させていただいたので、子供も一緒に拝聴しました。紙芝居の内容を完全に理解してはいなさそうでしたが、話し手の声のトーンや間から考えて分からない部分を補完している様子が伺えました。インターネット上で簡単に動画が視聴できる時代ですが、人を介してストーリーを知る良さがあるな、と改めて感じました。
- 紙芝居はお芝居と話されていたように、お芝居のように楽しませていただきました。残念だったのが、真正面から見られなかったことです。真正面から、どんなふう立って、動いて演じられているかも見たかったです。
- 紙芝居の高度な技術を見ることができた。
- 紙芝居自体の良さを知ることができました
- 紙芝居のおもしろさや楽しさ、めくりのタイミングの意味合いを知って、自分も紙芝居を演じてみたいくなりました。読んでみると心身ともに健康になりそうです。
- 塚原さんの言葉を大切にしながら、アトラクションを楽しみました。紙芝居の間にさりげなく配された子供を惹きつけるポイントは、我々の日常生活にも充分参考になるもので、もっと話を聞いていたかったです。
- 紙芝居のことがわかりやすく、しっかりと理解できたと思います。
- オンラインで感じ取るのは難しかったです
- 紙芝居を全部見せていただきました。最初の芝居演じに私も食いつきました。2つめは、体を動かしてほぐしたので、たいへん工夫されていると思いました。
- 紙芝居の技を色々ご紹介いただき、楽しく拝見しました。
- 仕事柄、子供たちに読み聞かせをすることがありますが、機械的にするのではなく、しっかり世界に入り込むことの大切さを知りました。
- 早く始まらないかとソワソワする感じや、個性的な濃い紙芝居の演じ方だなと思ったところ、まんまと塚原さんの戦略にはまっていました。男性の紙芝居はダイナミックでおもしろく、女性には出せない感じで、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。自宅で近くにいた子供たちも気になったようで覗きに来ていました。
- 塚原先生の紙芝居の実演も説明も、楽しく拝見させていただきました。
- 純粋に自分が楽しくて、この楽しさを子供たちに届けたい！！と思いました。
- プログラム②の途中からオンラインで参加させていただきました。絵本の世界に入り込んだような気持ちで紙芝居を聞かせてもらいました。読み方や使い方次第で、世界がすごく広がるんだなと感じました。ありがとうございました。
- 紙芝居のノウハウを教えていただき、本当に良かったです。いつか私もあんな紙芝居が演じられたら良いなと思いました。
- 教育現場での紙芝居の扱い方とは違う点もありますが、楽しませ方のヒントになりました。
- 多彩な芸は子供たちの心をまず捉えるため、その後から、本題を心に響かせる、届けることの大切さを学びました。
- お話しされている言葉のなかに、紙芝居を演じるヒントやアドバイスがたくさん含まれていて、とても楽しく学びが多かったです。今の子供たちや保護者にパフォーマンスされている塚原さんだからこそその視点は説得力がありました。読むことに集中しがちで、一緒に楽しむことに欠けている自分に気づかされまし

た。もう一つあったはずの紙芝居が見られなくて本当に残念。

- 子供を惹きつける仕掛けや子供の感じ方や特徴などをわかりやすく実演され、勉強になりました。
- こんな大学の先生なら、学生のみならず子供たちにも興味を持たせることが出来るなあと感じました。
- 大人も子供も遊びが大切だと学びました。
- 一気に場の空気も変わり、紙芝居を含め、面白い「ショー」でした。なるほど、人に関心を持ってもらうところから始まるのお話、言い得て妙だと思いました。話の入り口、大事にしていきたいと思います。塚原先生、遠くからお運びいただき、ありがとうございました。
- 紙芝居だけでも良かった。
- 塚原先生のエンターテイメントショーのような紙芝居を拝見することができ、嬉しく思います。子供が物語に没入できるように、たくさんの工夫を凝らしているのにそれを自然体でやってしまわれる業に嘆息でした。今後、紙芝居や読み聞かせを行う予定がありますので参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- 魅せ方、もっていき方によって子供を惹きつけてから始める、ということが勉強になりました。紙芝居が唯一、日本発祥の児童向けコンテンツとすることを知りました。
- 久しぶりに紙芝居を楽しみました。紙芝居の良さを再認識することができました。
- 惹きつけるパフォーマンスで、楽しかったです。今後の参考になりそうでした。
- 軽妙な楽しい時間で、実演はお話し会で参考になることばかりでした。子供に返って楽しませていただき、ありがとうございました。
- 紙芝居を演じる時のポイントを解説しながら、同時に素晴らしい紙芝居をして下さり、研ぎ澄まされた技術とそれにかかるご本人の想いが伝わり、こちらも大変感動しました。自分も何かやってみようかな、と背中を押されるようなパフォーマンスでした。
- 読むこと、演じることをすぐに始めないなど参考になりました
- web で視聴させていただきました。『みんなでたいそう』の紙芝居では、パソコンの前で体を動かしながら、県内の多くの先生方が今こうして、同じようなことをして同じようなこと思っているのだろうなと面白かったです。3つめの紙芝居を見られなかったのが、非常に心残りでした。
- 紙芝居までの時間が長かったですが、紙芝居は、楽しかったです。ノウハウが参考になりそうです。体操紙芝居ではリラックスできました。紙芝居もう一つ見たかったです。
- 紙芝居を引き抜くときの子供の反応の意味を知ることができて良かった。
- 紙芝居文化に詳しくなれました。発祥の場所や時代、紙芝居を進めるテクニックなど、知っているからと言って素人がすぐに披露することはできないけれど、子供を焦らしたり集中させたりする方法は参考になります。思わず童心に返りました。
- 子供たちが惹きつけられる紙芝居には、十分な練習と工夫が必要だと改めて感じました。いきなり紙芝居を演じるのではなく、その世界に入っていけるように、拍子木をならす前にも、その場に馴染めるように何かしたいと思いました。紙芝居を演じる塚原さんの真摯な姿勢に、日本の文化として紙芝居を大切にしたいと思いました。
- 紙芝居、楽しく聞かせていただきました。お話の中で「子供には平面の絵に没入できる感性がある」と聞いたことが印象に残りました。その感性を引き出すために、最初のつかみから、話の途中の惹きつけ方の工夫を聞いて「なるほど！」と思いました。実際自分がやるとなるとハードル高そうですが、教えていただいた工夫、覚えておきたいと思います。
- 特に、紙芝居が楽しかったです。演じる時に、何気ないテクニックがたくさん使われていることを、改めて知りました。
- 紙芝居の演じ方が参考になりました。また聞き取りやすかったです。

③シンポジウム



- それぞれのお立場からのお話を聞かせていただき、興味深かったです。活字のシャワー、どんな大人と触れるか、いかに多くの大人と触れるか、というワードが印象的でした。
- それぞれのお立場から大変興味深いお話を聞いてよかったです。もっと時間があれば。
- 5人の方のそれぞれのご意見、参考になりました。
- 様々な立場の方々から良い意見を聞いて良かったです。
- 様々な立場のパネリストであり、おもしろかったです。もう少し時間があれば、さらに詳しくお話が聞けたのではないかと思います。
- 様々な視点をいただき、また、言葉とは多くの大人との触れあいと多くの本との触れあいの中で育つことを大切にしていきたいです。
- 様々な立場からのご意見があり、話を楽しむことができました。和歌山県が力を入れたい読書文化を考えるきっかけとなりました。
- いろいろ考えるきっかけをいただきました。
- それぞれのお立場から読書に対する考え方を聞くことができ良かったです。
- 有田川町の活動はすごい。行政がハード面だけでなく、ソフト面にも取り組んでいることに驚きました。町長さんたちの人となります。
- もう少し時間があるほうが良いと思いました。多くの課題に対して、もっと先生方のお考えや取組を聞きたいと思いました。
- 勉強になりました。
- ヒントがちょっとつかめた。
- 立場の違いでそれぞれに考えさせられました。「子供を動かすのは大人」、一歩でも前に進めることができるように願います。
- おひとりおひとり、言葉に深みがあってあっという間の時間でした。笠野さんのお話にもあったように、親も子も様々なジャンルの本と触れ、人の気持ちがわかる人間になっていけたらと思いました。
- 各先生のご意見、良かったです。
- 読書文化を育てるための課題であったり、ヒントを多くもらったように思います。様々な立場の方々からの視点を得られ、シンポジウムというフォーラムのあり方は意義があると思いました。
- 町長はじめ、多職種のパネリストが良かった。
- 様々な読書推進に対する取組を学べた。
- いろいろな話を聞くことができ、勉強になりました。そして自分の意見をもつことができました。

- 5人の意見がわかりやすく、聞いて良かったです。
- 家庭・地域・学校、それぞれの役割で子供の言葉の力を育てていくことの大切さについて考えるきっかけとなった。
- タメになることが多くありました。
- それぞれの方の読書文化が根付くような取組、考え方を聞かせていただき感銘を受けました。
- 様々な人々の意見が聞いてとても良かったです。
- 貴重な話を聴けて良かったです。
- 自己紹介の時間が長かったように思います。もっと踏み込んで話し合いができれば、伝わりやすかったと思いました。共通の課題に対しての共有が見えにくかったです。時間的に難しいのかもしれませんが。
- 「スマホを片手に」をなんとか「本を片手に」に変えたい。
- 幅広い世代の人との関わりや数多くの本との触れあいが“言葉の力”を育てていくことを学びました。この学びを生かして、子供たちの言語化する力を育てていきたいと強く思いました。
- 本を読むことがゴールではなく、生きる力へとつなげることが大切だということを改めて感じました。
- 色々な立場から現代の子供への見方や問題点を聞くことができたことは良かった。
- それぞれの立場からの意見を聞き、自分なりに考えるきっかけになりました。
- コーディネーターの藤田直子先生の進行と、シンポジストの方々からの意見を引き出す力量のおかげで、大変興味深い、良い時間になりました。
- 良かったです。もう一度自分の中で整理してできることをやっていきたいです。
- いろんな立場の方のお考えを聞いて勉強になりました。
- 読書文化を根付かせるために大事なことについて、環境や人との関係、体験について触れられていたので安心しました、冊数を競う取組が和歌山で広がらないことを希望します(的外れと感ずる)。
- 言語環境の整備・充実の必要性を改めて感じた。有田川町の取組をもう少し詳しく聞きたかった。
- 有田川町の取組が素晴らしいと感じた。
- 和歌山での読書文化について改めて考えさせられました。
- それぞれ述べられていることはなるほどもっともだと思いますが、具体的に何をするのかということが難しいのではないのでしょうか？もう少し聞きたかった。
- 活字と会話により、語彙力を養う手立て、子供が自ら行動するためにできることを考えさせられました。
- それぞれの方々のお話をもっと聞いてみたいと思いました。
- 本を読むということはとても大切だと思いました。
- 公的・学校・教育の面からお話が聞いて良かったです。
- 言葉の力をつけるために読書推進をすすめていきたいと思います。
- 各先生の情熱を受けて、これからの読みかせボランティアに生かしていきたいと思います。
- 子供と大人の会話、子供と本との出会い、大切に考えたいと思います。
- もう少し子供たちが本に自然に親しむため、また本を自主的に読もうとするための具体的な方法を知りたかった。
- リモートがある中で、生の皆様のお声を聞きたくて参加しました。今日、田辺から来ることができて良かったです。ありがとうございました。
- 各々の方にもう少し時間をかけてお話をお伺いしたいような内容でした。
- 真似してやってみようかな！皆様の熱意、思い、工夫、取組が子供に伝わること、願っています。
- いろいろな立場の方のご意見を聞いて参考になりました。有田川町は様々な取組をされていて、住んでいる人は楽しそうだなと思いました。
- 学校・社会・家庭が一体として、子供が自主的に本の楽しさに触れる取組を進めていく必要がある。
- 難しいテーマなので、これからも考え続けていきたいです。
- シンポジウムの時間をもう少し取ってもらったら良かったと思います。もう少しご意見を聞きたかった

です。

- 学校教育の中だけでは子供の読書活動は難しく、幼児期から、また地域ぐるみで大人の姿をより良くしていくことが大切だと改めて思いました。
- それぞれの立場からのお考えを聞かせていただき、とても参考になりました。
- 豊かな言語環境を実現していくにはどうすればいいのか考えることができました。
- 有田川町の取組に一度参加したいと思いました。
- 時間不足。別に時間を取るとゆっくり聞けたと思います。
- それぞれのコメンテーターの方々の話の内容も良くわかりました。家庭環境ってやはり大切ですね。一人の大人（祖母）として反省することも多いです。
- いろいろな立場の方のお考えをうかがうことができ良かったです。時間が少し短かったような気がしました。
- 言葉の力は、生きる力の重要な要素であり、その育成を図るために読書の果たす役割は大きく、読書文化を醸成するために、家庭・学校・地域が協働して共育活動に取り組むことが大切だと思いました。
- 各シンポジウムの方々から取り組みや、それぞれの思いを、自分の地域なら何が出来るのかと考えながら聞かせていただきました。
- 個人的には有田川町長 中山様のお話が聞けて大変うれしく思います。会話や活字のシャワーを浴びて、それをどう膨らませていくか、考えさせられました。
- 前者同様、時間が短く、素晴らしい登壇者の話をもっと深掘りして聞きたかったと感じました。
- 社会教育、学校教育、行政などのそれぞれの立場から、現在の子供たちを取り巻く課題や今後の読書推進について意見を聞くことができ有意義なシンポジウムであった。
- 皆様それぞれの思いを聞かせていただき、読書推進は大切なことなんだと感じました。
- すみません、所要のため、拝聴できませんでした。アーカイブがあればありがたいですが。一点、和歌山だけの課題や取組としてではなく、日本中、世界中に伝播していくことを祈ります。
- 皆様がそれぞれのお立場で「和歌山の読書文化の未来」を考え実践されているご様子、胸を熱くしながら拝聴しました。自分の考えを言語化できる子供を育て、言葉によって幸せを呼ぶ人間関係が築ける大人を増やしていくために、地域全体で関わっていけたら本当に良いなと考えさせられました。本日は良い機会をいただきました。
- もっと聞きたかったです。それぞれのお立場のお話を聞いて納得しました。
- パネラーの人数が多かった印象です。深い話まで聞きたかった。
- 時間が短くて残念でしたが、子供のために大人が何をすべきかご提案いただけたと思います。
- 多様な立場の方々からのご意見は、大変参考になりました。情報源が多様になった現在、昔のように書籍が情報源のメインとはなっていないのは、とても難しいところもあります。また、刺激も少なく、想像力も必要となることから、活字にどのように向かわせるのか、その楽しさに触れさせるには、どのようにしたらいいのかなど考えさせられました。
- もう少しじっくりお聞きすることができればと思いました。
- 色々な立場の方からの意見や実践内容が聴けて良かった。
- 時間が短すぎた。でも、とても考えるヒントをたくさんもらった。
- 学校教育に携わる立場として、生きる力の礎となることばの力を子供につけるための仕掛けづくりをどんなふう読書と絡めていくかを考えていく素晴らしい契機となりました。ありがとうございました。
- 有田川町の読書への取組に感動しました。地方創生が叫ばれるいま、読書推進を訴える地域からの発信に期待したいと思います。
- いろんな取組を紹介してくださっていたので、もっとたくさんのご意見を伺いたかったなあと思いました。子育てに関わるのは学校や、社会、地域はもちろんですが、保護者だけでなく、子育てをしていない世代の人たちの力を得られればいいのになあと感じました。学校現場をご存知の先生方が登壇し、地域連

携との重要性を伝えていただくのはもちろん、どちらの立場も理解していただけているというのがよくわかるフォーラムでした。

- 子供のことばを育てるには、やはり、学校教育、家庭教育、社会教育が連携しつつそれぞれの役割を果たすことが大切であることを改めて感じました。まずは、自分に何ができるか考えることから始めてみます。ありがとうございました。
- 読書の大切さを色々な方から学んだ。
- 立場の違う皆さんのお話で、興味深く聞かせていただきました。もっといろいろ聞きたいです。次回開催を期待します。
- それぞれの立場でのお話が伺えて良かったです。
- 有田川町の取組について、ニュースでは拝見したことがありました。一度、訪れてみたいと思います。また、話し言葉としての「会話のシャワー」、書き言葉としての「活字のシャワー」にあふれた環境整備が大切なことについてよく理解することができました。
- 皆様のご意見をお聞きして、読書についての学びだけでなく、子育ての学びだと思いました。言葉の貧困を緩和するためにできること、絵本の町の実際の取組など、もっとお聞きしたいと思いました。ありがとうございました。
- 本は自分との対話のためにも不可欠な存在である。子供たちの手が自然と本に伸びるように、できる範囲で環境を整えていきたい。
- 「子ども司書養成講座」というものがあるのを初めて知りました。楽しそうな活動なのでもう少し詳しくお聴きしたいと思いました。子供の本質は変わっていない。大人が作っている環境が変わってしまった。本当にその通りだと思います。今起きているウクライナ情勢にしても大きく影響を受けるのは子供です。
- パネリストの方々には様々なお立場で大切にしておられること、ご経験から実践につなげておられるお話が心に残りました。個人的に大好きな有田みかん。読み聞かせ活動にも力を入れておられることを初めて知りました。
- よくぞこれだけの方を。お疲れ様でした。
- 「地域で子どもを育てる」「図書館が憩いの場に」というお話は、親の立場からはとてもありがたい考えだなあと本当に感じます。長男は活発で、図書館に連れて行くのは周りの迷惑になるのでは？と心配した時期もありました。ですが、海南市の図書館は子供にとっても寛容で、遊びや食事のスペース、オムツ替えスペースもあり、親子で安心して通わせてもらっております。2週間に1度、10冊借りるのを2年継続するうちに、子供は本が大好きになりました。集中して1冊の読み聞かせを聴けるようになり、図鑑を見て自ら知識を広げています。借りる本は親が選ぶことも多いのですが、子供は今何に興味をもっているか、どの本に出会わせようか、と子供の事をじっくり考える時間にもなっています。もちろん、読み聞かせを通して親子のコミュニケーションも図ることもできています。今までは知識を得るための読書、というイメージが強かったのですが、親になり、また今回のシンポジウムに参加させていただいたことを通して、読書は人生を豊かにするものだなあ、と改めて感じました。小さなうちから、本を手にとることが当たり前前の環境を作ってあげたいなと思いました。
- 有田川町の取組について、全く知らなかったもので、素晴らしいと思いました。地域や町、家庭、皆さんの意識の高さ、みんなで育てるという気持ちを感じました。
- 時間が短くて少し残念でしたが、とても勉強になりました。
- 和歌山県内でも新たな図書館ができ、とてもよいことです。「読書」自体、子供だけに推進するのではなく高齢者にも推進を目指してほしいです。いろいろな意見を聴くことができ良かったです。
- それぞれのお立場で読書の大切さを語ってくださったので、いろいろな観点のことが分かりました。岸田教授の「自分の中からわかあがってくるもの」をどのように育てるか、行政の立場としてどのように仕掛けていこうかと、力が湧いてくる思いです。
- それぞれの立場からお話を聞かせていただきました。和歌山県の読書環境は決して恵まれているとはい

えませんが、関係者のみなさんの努力で少しずつ向上しています。しっかり勉強させていただきました。

- 学校教育、家庭教育、社会教育、生涯教育のそれぞれから、地域での取組が進んでいくよう財政措置があるそうですが、環境の整備、人材の育成がやはり大切であると教えていただきました。地域全体に読書文化が醸成され、地域の大人との関わりを通じて子供たちが、また、地域が幸せになることを祈ります。
- それぞれの立場からのお話が聞けてよかったです。
- 様々な立場からお話を聞けたので知見を広げられ、今何が大切にされているかを知ることができました。しかし、時間が少なかったのもっと聞きたい気持ちがあります。
- 社会の変化が子供たちに与える影響が大きいと感じました。共働き、核家族、忙しい日々で改めて言葉のシャワーが少ないと感じています。読書というテーマ以上に人が生きていくためにはどうすればよいかという壮大なテーマの講話を聞かせて頂けたように思います。読書文化を根付かせるため、ご尽力いただいていることに感謝いたします。
- シンポジストの先生方の話を伺いながら、今の、そしてこれからのデジタル社会の中で、読書文化をどう残していくか、どう進化させていけばいいのか、いろいろ考えることができました。
- 有田川町が羨ましいです。行政の協力、理解が必要ですね。
- 私自身、子供のころにあまり本が好きではありませんでした。嫌いではなかったですが、読書＝勉強というイメージがあり、めんどくさい、おもしろくないと感じていました。しかし、大人になってから本を読むようになり、言葉の使い方や表現の仕方、こんなに想像が膨らみ、新しい世界が見えるんだということを知りました。なので、子供たちにはそういう経験をたくさんしてほしいと思っています。その結果、読解力や語彙力をつけることにつながれば、それは素晴らしいことだと思います。まずは大人が、本と触れあう環境をつくり、子供と一緒に触れあう時間をつくるのが大切だなと改めて感じました。ありがとうございました。
- 子供たちの教育は、家庭と学校だけではなく、地域ぐるみですべきだという考え方が、もっと広く普及したら良いと思いました。
- 大阪体育大学の先生の言葉の中に、「言葉のシャワー」と「活字のシャワー」がありました。自分が中学時代に校長先生から言葉のシャワーをいっぱいいただき多感な時期を乗り越えたのを思い出しました。きっといつの世も「言葉のシャワー」や「活字のシャワー」は大切なのでしょう。確信しました。
- 所用がありパネルの自己紹介で失礼しました。町長様の見識の高さに敬意を表します。
- 自治体で読書活動に取り組んでいる有田川町のことをもっと知りたくなりました。本と出会える環境づくり、居場所づくりの大切さ、そこに関わる人、地域の大人の読書活動への意識、どれも大切ですね。
- それぞれの立場でのお話があり、読書推進がいろいろな立場から連携することが必要だと感じました。
- 前半と比較して、少しリズム感を感じられませんでした。いいお話を伺いました。特に笠野さんの子供のころの本屋さんへの寄り道の話が印象に残りました。
- 読書と会話の大切さを改めて考える良い機会になりました。限られた時間の中、建設的なご意見を拝聴させていただき、ありがとうございました。
- 某在来線の通勤電車の中では、本のページをめくる音ではなく、電子音、でもなく、スマホをひたすらにタップする音のみです。（イヤホン、又はマナーモードにして操作している。）コロナ禍というものもあるかもしれませんが、車内の賑わいがなくなったように感じます。はっきり言ってヤバいくらい静かです。シンポジウムでおっしゃっていたように、大人が作り上げたこうした環境は、わたしたちの言葉の発育を阻害しているのかもしれませんが。とりわけ多感な幼少期には、読書に触れさせる仕掛けや工夫が、より求められる時代なのかなと同感いたします。藤田先生、他パネリストの皆様、ご多忙のところ有意義なお時間をありがとうございました。
- いろんな立場の方の意見が聞けたのが良かった。自己紹介時間を短めにして、いくつかのテーマについての意見交流をもっと聞きたかった。
- 「読書推進」は決して強要であってはならず、自然と文字を読む、疑問に思ったことをネットだけではな

く本で調べる、【解る】ということのおもしろさを体感することが大切なのではないかと感じました。本に触れるきっかけ、本からあたらしい世界を享受するたのしきは、テレビゲームや YouTube などと同じように「おもしろいを発見できる」ことだと経験する機会が増えることを願います。また、見聞きしたこと、気がついたこと、好きなものをきちんとことばで伝えられるように、"読む"だけではなく"他人が理解できるように語る"場面が子供たちには必要なのかもしれないと思いました。

- とても興味深い内容でした。まさに今、自分が直面している内容でした。読み聞かせをしていますが、それをしていても子供が本に興味を持つわけではないことを実感しています。今は環境をつくらないとなかなか自然に本と関わる時間がつくれないうこと。そしてなにより有田川町の取組がすばらしいと思いました。図書館って残念だなとも思っていたので、有田川町の取組はすごいなと思います。
- 読書に関して、和歌山県がいま力を入れているのは、大変素晴らしいと思います。学校だけでなく、家庭教育、社会教育がつながりを持ち、大人も子供も読書を楽しむ環境を整えていけたらいいなあと思います。
- 皆様の、本、そして読書に対する熱い思いが伝わり、私の住む自治体に足りない、もどかしさを感じました。本当に様々な取組をなさっていらして、羨ましいかぎりです。
- 所用のため視聴できずすみませんでした。大変残念でした。
- ことばのシャワー、文字のシャワーという言葉が印象に残りました。
- 「会話の少なさ」ということが、今の子供たちにとって大きな弊害になっているということがよくわかりました。
- 経験・体験等に基づいたもので、非常に共感させて頂きました。
- 司会進行は良かったです。シンポジウム参加者の発言時間が足りなかったように思いました。人数が多すぎたのでしょうか？
- 各先生方の読書に関するご意見を聞いて、大変勉強になりました。
- 和歌山の活動にとっても刺激を受けました。自分も地域での活動になんらかの形で加わり、子供の成長、言葉や感情を見守る役割を果たしていきたいと思った。
- 内容は良かったです。シンポジウムに辿り着くまでに時間がかかってしまい、こちらの集中力が散漫になってしまいました、すみません。オンライン参加でなければ、和歌山県さんの読書推進活動に触れる機会は無かったかも…。司書さんの取組など、参考にさせていただきます。
- いろいろなお考えをお聞きできて良かったです。
- 各先生方のお話がわかりやすく、実感がこもっていてとても良かったです。ずっと住みたい町を目指して、読書文化の醸成に貢献したいとおっしゃった有田川町町長さんの言葉に感銘を受けました。和歌山県に対する印象がみかんから絵本に移り、どちらも子供たちに大切な糧だなあと思いました。ありがとうございました。
- シンポジストの方の話を聞きながら、「ヤバい」という貧困な言葉を使っていること、家庭で子供たちの前でついスマホ触っていること、反省するところがたくさん出てきました。1～6年生の教科書に480冊紹介されていると聞き、そういえば本の紹介があったのに活かせていなかったと気づきました。復職して教育現場に戻ったときは、教室の中でも本に親しめる環境づくりを意識したいと思います。
- 有意義なシンポジウムでした。時間が短かったのが、残念でした。
- 個々の発言ではなく読書に対する意見交換を聞きたかったです。
- それぞれの立場からの取組が聞けたことが参考になりました。
- 時間の関係上、仕方がないとは思いますが、もう少し詳しくそれぞれのお考えを聞ければ、なお良かったと思います。
- それぞれのお立場からのお話は興味深く聴くことができたが、自己紹介部分が長く、意見交流にまで進まなかったのが残念だった。
- 興味深いお話がありました。が、もっと詳しく聞きたいなというところで時間切れでした。時間に対するパネラーの数が多く、どの方の話も途中で終わってしまい残念でした。

3 和歌山県に読書文化をより一層根付かせるために、一番大切なことはどのようなことだとお考えですか。ご意見をお聞かせください。

- 小学校の図書の充実。古くてボロボロの本もあり、子供たちが手に取る気になれないような本を替えてほしい。
- 各学校図書室と司書の充実。ネットから離れる環境づくり。
- 子供と接する機会が多い方々に、講演を聞く機会を多く持てるようにして欲しい。
- 子供を育てるのは、学校だけでも、家庭だけでも地域だけでもない。いろいろな場をどうつくるか、何かやろうとしたときに、「いいね！」と協働できる関係がたくさんあると良いですね。
- 積極的に本を読む場をつくる。
- 地域の書店の活性化。
- 親が本を読む姿を子供に見せること。
- 読み手、司書等、本に携わる人たちの養成、質の向上。
- 自分自身の経験から、やはり家庭での読書環境（人も含めて）が大事だと考えています。有田川町長さんのお話から、一定の行政の関わりの必要性を感じました。
- 施設の充実（海南 nobinos、和歌山市立図書館などは新しくなり、それだけでも人が集まりやすくなっている。）と親の教育。
- 大人が今日のように、読書文化や言葉の大切さを再認識する機会が、様々な場所、タイミングにあることの大切さを思いました。改めて、大人が気づき、どう変わるかが大切だと思わせてもらいました。
- 読書は難しいものではなく、楽しいもの、喜びをもたらすものということを広く知ってもらう必要があると思いました。それを伝える役割を育てていくことも大切だと思いました。
- みんなが「読書」を意識すること。そうアプローチしていくこと。
- 司書教諭など、学校の中では読書に触れる機械や仕掛けを中心に考える人を置くこと。図書館の充実。
- 子供も大人も身近に絵本を気軽に手に取って見られるとうれしいですが…。
- 一番大切なことは、各学校に司書を配置することです。忙しすぎる教師が、読書の大切さを知ることです。時間の余裕を教師に与える。
- 自分が読書体験を楽しみ、得た経験を伝えることだと思います。
- 幼児、児童に対する読み聞かせの継続で読書のきっかけづくりと、小学校図書室の図書の充実で居場所をつくること。
- 身近に本があること。
- 「ことば」です。
- 「地域の力」というキーワードが多く出てきましたが、「地域」を動かす「キーマン」は必要。「キーマン」を育てる機会があれば、本が好きな大人は多いです。各市町村の図書費に対する予算措置はそれに追いついていないのでは？
- 公共図書館の責任の重要さを感じました。
- 本に触れる機会と、大人からの声かけなのかなと思います。私は子供のころ本が大好きで、休日には朝から近所の図書館に行き、お昼ごはんを食べに一度帰宅したあと、また図書館へ向かっていました。自転車で気軽に行ける距離に図書館があったことや、受付の方が「たくさん読んですごいですね！」などとほめてくれたことで、より一層本好きになったのだと本フォーラムをとおして気づきました。当時の大人の方に感謝です。読書を通じて親も子も心を育てていけたらと思います。
- 大人でも誰かに読んでもらうのは、心に染み入るものと感じました。今後も朗読を聞かせていただく機会をつくっていただきたい。
- 今回の読書フォーラムから、読書文化を根付かせるためには、幼いころからの学校教育の中での言葉の触れあいだけでなく、大人が読書する姿と環境をつくっていくことが大切であると感じました。

- 子供たちに読書が楽しいと思える環境を与えることが重要。
- 大人が本を読むこと。
- 行政の要職に就く人たちの理解。
- 町長が報告されたことの推進。ちょっとしたまちなかにも本を置いたり、親が意図的に本を読む姿を見せること。
- 本を、大人も子供と一緒に楽しめる環境。
- 本と触れあう機会をつくる。
- 移動図書館を増やすこと。（小さいときに公園などにきて本を借りたことがあるから）
- 自分自身を地域の一員と考えたとき、地域の子供たちのためにできていることはないし、あまり図書館を利用していない。休日に図書館で若者向けのイベントなどがあれば、図書館へ行くきっかけになると思いました。
- 子供の気持ちも一緒に考えられるようにする。
- 大人の責任、地域の責任を考え直したいと思いました。
- 子供は、小学校でボランティア活動の読み聞かせや図書館などでの読み聞かせに触れあう機会をいっぱい増やすことが大切だと思います。それと実際に本と触れあう時間もしっかりとることが必要だと思います。学校では、図書の時間とか図書館の利用を促進することが必要だと思います。
- 子供を中心に、大人まで一緒に楽しめる読書文化をつくっていければと思います。
- スマホ社会の今だからこそ、読書の良さを広めていくのが大切だと思います。
- 本日は開催ありがとうございました。県内での推進活動も、各組織の横の連携が大切だと思います。情報共有や活動内容について広く市民の方と共有できることも重要だと思われます。
- 図書館をどう充実させていくのか（図書・企画）と、保護者の方々に絵本の楽しさを伝えること。
- 今日の講演をDVD化して、各学校に配布していただきたい。保護者会で活用してもらえるように。
- 楽しみながら読書できる環境づくりと、地域社会と学校教育の連携。子供が楽しみながら読書するためには、大人の読書に対する意識を変えていくことが必要だと感じました。大人が楽しんで読書する姿勢を見せることも読書文化が根付く1つの要因になるのではないかと感じました。
- 読んで感じたことを共有するという機会を増やすことだと考えます。
- 地域ぐるみで…ということが大切だと思います。また大人自身がすべきことがたくさんあると感じました。
- 図書館や図書室など本のある場所へ足を向けさせる仕掛け。
- 家庭での読書の時間を少しでも持てるように、親子ともどもに習慣化することが大切。
- コロナ禍で自粛気味の頭にも心にもたくさんの刺激を受けました。読書文化をより深め、広げるためには、地域のキーマンさんたちに、今日のようなフォーラムや講座を重ねて受けていただくことが大事だと思います。
- 読んだ冊数に注目して多読者を表彰することではなく、読書そのものの楽しさを体験できる機会や環境を整えること。また推進する側がその視点を意識して取り組むことだと考える。何冊読んだ、というのは自分の読書を振り返る上では意味があるが、冊数を他者と競うのは文化を後退させることになるのでは？と心配している（別のものにする）。
- 子供たちの言語環境を整えていくことの重要性を教えてくださいました。そのために、学校図書館、図書室を整備するための予算と、図書館司書、学校司書をどの学校にも配置していただきたいです。また、読み聞かせボランティアの人たちと学校との交流を増やすことだと思います。
- 家庭環境かなと思います。昭和30年代、田舎に貸本屋さんがあり、母とよく出入りしました。高校では雑誌「くらしの手帳」と出会いました。三人の子には読み聞かせました。親しんだ本を今孫たちに。子らは心理師、読書をしています。
- 読書が身近にある環境づくりが大切だと思います。本屋さんが少なくなっていく中、図書館の役割は大き

いと思います。

- 地域で読み聞かせの機会を増やす、きっかけづくり（子育て広場など）。そのためのボランティア養成なども必要でしょうか。
- 学校図書館（室）の充実。
- 読書には、環境と人が大切であると改めて感じました。
- 先生が自分の好きな本について自信をもって紹介することだと思います。
- 大人や親の文化水準（≒生活水準）を高めることが大切だと感じます。貧困やヤングケアラー、またそこまで至らなくても生活がなかなか思うに任せない方々は、読書どころではないし、読書を楽しむ余裕を見いだせないと思います。
- いつでも本が手に取れる様な環境がとても大切だと感じます。家庭でできればいいが、金銭的に無理な家もあるので、図書館に出向くように仕掛けをつくっていただければいいのかなと思います。
- 幼児期からいつでも身近に本を手にとれる環境と人との会話。
- 自分自身がもっと本に魅せられないと、と思いました。
- 小さい子供のころから本のある環境をつくること。子供の年齢に応じて読書に興味を持てるように大人が導いてあげること。本の楽しさを知らしめること。
- 身近なところに本がたくさんあること。イベントなどで読み聞かせや紙芝居をすることでそのおもしろさを感じとってもらえる機会を多くすることなど。
- 自由に本を選び、読める環境をつくっていくこと（マンガや図鑑はダメなどと制約をかけずに）。読み聞かせの機会の充実。
- 学力と読書、どちらに力を入れていくか。県学力テストを2回するよりも、読書テストを設けてはどうか。各学年で指定図書を設定し、その内容を問うような試験はどうか。
- 子育ては、母親育て。母と子が楽しく参加できる場が大切だと思います。
- 小さいころから「本」「言葉」（話す）が身近にある状況をつくる必要があると思います。幼少期は「読み聞かせ」、小学生以降は自分が読む機会を与えてあげることが必要だと思います。例えば朝礼の時間に10分間の読書時間を設けるなどを考えてはどうですか？朝礼の時間に読み聞かせ、朗読を放送で流すなど学校でそれぞれ考えてみてはどうですか？地域の人（高齢の人達？）との連携で放課後に読み聞かせの時間をつくってははどうでしょう。
- 「おはなし」の楽しさを見つけることができる機会、環境が身近にたくさんあれば、と思いました。
- 乳児さんの子育てに絵本の読み聞かせや言葉がけが大事だということを若いお母さんに伝えること。0才から始めるのが良いと思います。お膝の上に座っている時間が長い時期に、が大切だと思います。
- 積極的に子供のいるところへ出向いて（イベント等にも参加して）手に取って読む、聞く、シェアすることが重要だと思います。
- 大人の意識、豊かな感性が必要なのではないのでしょうか。
- 各市町村と県の図書館の資料の充実。まちの本屋さんがもっとあってほしいです。
- 田舎にいても、どこでも読みたい本が手に入る環境。移動図書館もあるが、本屋で本の背表紙を流し読みできる体験、本に出会う・見つける体験。ビブリオバトル大人大会とか、サークルとかつくったらおもしろいと思う。
- 学校・家庭・地域の人たちが連携して、読書環境（人も含めて）を整えていくこと。
- 各地域での読書体験をとおして学ぶ楽しさを伝えていく。
- 小中学校での学校司書の常勤（特に小学校）。ファーストブックなど家庭での読書環境を整える。子供が手を伸ばしたときに本を手にとることができる環境づくりが必要だと思います。
- 読書できる環境の整備と、大人自身の主体変容（学校関係者も保護者も）。
- 有田川町の中山町長さんがおっしゃっていたとおり、「環境を整えること」「人の配置」に尽きるのではないのでしょうか。それがあっての発展につながると思います。

- 豊かな言語環境が必要になっていく、という話もありました。今日学んだ読書の大切さがもっとたくさんの皆様に広がっていくことが大切だと感じました。
- 環境の整備と新しい取組を考えないといけないと思いました。
- いつでも手に取れるところに本が存在すること。低年齢への読み聞かせがもっと増えると良いと思う。
- 地域・学校・家庭、いつでもどこでも手の届くところに本があることだと思います。
- 大人がゆとりをもつこと。日々の暮らしを楽しんでなさそうな大人の言葉は、子供にはなかなか届かないのではないかと思います。
- やはり、まず親が子育ての中で子供と向き合う姿勢の大切さを認識することから始まると思います。「今しかできないこと」を子育ての中で考えながら、大人のスマホ依存を改めていくべきだと思います。
- 環境を整える、ということでしょうか。
- 読書が嫌いな子（人）が、読書が好きになるには？
- 読書習慣の基礎は幼児期から身につけられることが理想であり、子育てにおける「読書の効果」を保護者に伝えることが必要であると考えます。それは、民間ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」や、図書館司書の保育所・こども園への訪問活動をとおして取り組まれているところです。児童・生徒対象には、小学校では学級活動・全校集会における「ブックトーク」などの取組、小学生・中学生による「ビブリオバトル」が実施されています。幼児期から青少年期まで、それらの取組が効果的につながり、系統性・一貫性をもって継続的に推進されることが大切であると思います。
- 小さいころから読書習慣をつけることが大切だと思います。保護者の方にも、子育ての中で絵本の読み聞かせをしたり、図書館を利用していただけるように、ボランティアの方や図書館職員、福祉課職員と連携しながらブックスタート等を通じて案内を行っています。
- 幼少期からの家庭での読み聞かせが重要であると考えます。お母さんやお父さんの体温や声のぬくもりを感じながら絵本を読んでもらうことで、読書への興味、関心が生まれます。家庭での読み聞かせを推進するために「ブックスタート」の事業や、講座などを開くことも必要です。私の町では町のPRキャラクターを主人公とした絵本の制作を進めています。地元に関心を持ってもらうと同時に読書活動推進につなげていきたいです。
- 大人(保護者)自身がもっと本の良さに気づき、読書に親しむこと。加えて幼児期にできる限り読み聞かせをしてあげること。
- 本を読める環境をより一層整備していくと同時に、本に興味がある人からそうでない人まで読書を身近に感じてもらい、子どもたちに自然と読書の楽しみを伝えられる体制づくりが必要になると考える。
- 本は素晴らしいと、改めて思いました。ボランティアをしています。20年もよく続けているな、と感心するくらいです。これから先も子供たちにたくさんの本と出会ってほしいので、ボランティアを続けていこうと思います。小さなことですが、コツコツ続けることが大きなことにつながっていけばいいな、と願っています。
- 「読書」と「読書文化・読書活動」は違い、今の子供たちは読書文化を根付かせるための基本となる「読書」書を読むということ自体が危惧されています。まず子供が本を好きになり、大勢の本好きの子供たちを育てることからはじまるのではないのでしょうか。山根先生もおっしゃっていましたが、本よりもっと面白い物が他にもあることも読書離れの大きな要因になっていると思っています。まず家庭では親の余裕（時間・心・経済的）がそろわなければ読み聞かせどころではなくなります。
- 学校にも読み聞かせボランティアの方が入っていますが、いつでも読み聞かせをしてもらえる、聞いてもらえる、感想を共有できる地域の人々が居るような環境づくりが可能なら、一つの方法かもしれません。"
- 子供に楽しんでもらうため、若いご両親への働きかけも必要かと思う。堅苦しくなく楽しんで欲しい。最近、声優さんの読む『星の王子様』の朗読を聴きました。素晴らしかったです。日ごろ、あまり読書しない人も参加できる企画があればうれしいです。
- 先日、NHKで小野和子さんの講演を聞きました。和歌山県には、語り継がれる昔ばなしってあるのでし

ようか。知りたいです。

- 公立図書館の充実。
- 人間としての「言葉の力」、真の「幸福力」を伝える機会を増やす。本当に必要な場での読書推進の機会を増やす。
- 和歌山だけの取組ではなく、世界から俯瞰して目的、目標をとらえることが大事ではないでしょうか。そういう視点から、では和歌山ではどうでしょうか。
- 大人の姿勢。本を読むことは、イケてると大人が自覚すること。
- 今回、このような素敵な活動を知ることができ本当にありがとうございました。いつも障害のある子供たちと一緒にいる立場から…自分で見たり読んだりすることが難しい子供たちにも、本や漫画の読書体験にアクセスができるよう、障害理解と、それに基づく環境設定やご配慮をいただくと幸いです。また、1人1台タブレット時代を生きる教員として、ICT機器やスマホなども使い方によっては、読書文化へのアクセスに役立つものと考えています。Kindleですぐに興味ある本にアクセスできたり、視覚的に拡大して読む機能もお手のものです。現代の子供たちにとって親和性の高いICTを使うことで、逆に読書文化への敷居が下がるかもしれません。大人が意識的に子供たちの生きる土俵に立って、読書文化へのアクセスを考える感性こそが、もしかしたら子供たちは嬉しいかもしれませんね。地域の中で豊かな会話体験を大切にするとともに、様々なメディアを活用し、誰もが読書の機会にアクセスできる、誰もが読書文化から取り残されない世の中だと良いなーと思っています。
- 環境の充実とやる気。
- 親の読書に関する意識
- 大人と触れあう環境づくり、仕組みづくり。
- 子供のころから読書文化を根付かせることはもとより、やはり、有田川町のように、大人にも訴えかける動き、うねりをつくっていくことも大事かと思いました。
- 大人が読書を楽しむ姿を見せること、環境を作ること、伝えていくことが大切だと思います。
- 人の力。人を地道に育てていく。今回もその一環だと思いました。
- 図書館へ行くのが楽しいと思うイベントを開催したらどうでしょうか。本好きになるのは、大人から言われたからではなくて、自分で本の楽しさに気づくことが大事ですから、その楽しさを図書館で経験させてあげてほしいと思います。
- まず、自分自身が多くの本を読み、その話を周囲の方々とできることかな。
- 専任の司書、資料費、憩いの場としての図書館に力を入れてほしい。
- 大人が読書をする機会。仕掛け。子育てをしていない世代をターゲットにする公共図書館での仕掛け。
- 乳幼児期の絵本などの読み聞かせ。
- 家庭での読書。
- コロナ禍の中、何もできずにいるのを恥ずかしく思いました。子育て中の若い保護者の方に伝えることが難しいと思っていましたが、自分たちのできることから何か始めるのが大切だと痛感しました。
- 地域全体で関わるのが大事。すそ野を広げるためにもこのようなフォーラムをこれからも開催いただきたく思います。
- 大人が書籍を楽しむことが大切だと考えます。まずは、子供のロールモデルとなる学校の教員がもっと読書（研究）に没頭できるような、環境整備を実現したいと思います。
- 若いころ、毎日のように本屋さんに行き、手に取った本をわくわくしながら読んだ日々が思い出されます。スマホや、PCが身近にある現在、時代が変化しました。でも、子供は変化していないというお話があり、印象に残っております。読書文化を根付かせるためには、絵本のある環境づくりや大人が読む姿勢を見せていくことが大切かと思いました。
- 読書、読み聞かせの楽しさを大人の方に知って欲しい。子供に本を届ける大人が増えればそれだけ多くの子供たちにも読書の楽しみが伝わると思います。

- おひとりおひとりが、本を読むことだと思います。そして文庫でも絵本でも、ジャンルを問わず、本について話す機会があるとさらにいいと思いました。
- 公立図書館の充実、地域人材の活用、学校図書館司書の配置、読書が進むような仕掛け、大人のゆとりなどが大切。
- 地域に開かれた、憩いの場としての図書館。図書館に行けば、好きな本と出会えて、ほっとして帰って来られる。小さな子供が居ても気兼ねなく通える場所があることが、読書習慣の一番のスタートになると思います。
- 身近に本があって、楽しさを教えてくれる人が身近にいることだと思います。
- 有田川町のように、地域に読書文化が根付くような仕掛けが必要だと思います。
- 図書館の利用について、県民なら、どこの市や町でも利用できることなど身近な読書推進に努めることが大切と感じます。特に高齢者には、読書で脳の活性化が図れると思います。各世代に読書の良さを知らせてください。
- 本を身近なところに配置するハード面での環境づくりと、身近な人とともに読書をする体制づくり(こちら環境づくりに入るかもしれません)。
- 幼児期から親子で絵本に親しみ、読み聞かせを習慣づける。親も根気のいる事です親子の関係も良好に保つことができるし、健全な人格形成の基本だと思います。
- 小さなときから本に親しめる環境、これはやはり人が大切な鍵になると思います。今回のようなイベントもそのひとつになりますし、日々、子供たちに本を届けてくださる読み聞かせボランティアの方々、図書館のスタッフのみなさんなど多くの方々の地道な取組が大切になってくると思います。
- 幼児期から読み聞かせ朗読がいつも聴ける環境と、本がいつでも手の届く所にあること。かつらぎ町笠田小学校で行っている、給食の時間の朗読放送と図書室にその本がわかりやすく置かれている、というのを和歌山すべての学校でできたらいいと思います。
- 読書文化を根付かせるとなると、幼児やその保護者に対するサポートが必要だと思います。以前子供と読み聞かせに行ったことがありますが、子供はあまり興味をもちませんでした。全ての子に当てはまることではないと思いますが、おうちの人が本を読み聞かせ、一緒に楽しむ文化が読書を根付かせることになると思います。小学校でいくら本を読むように仕掛けても、その時は読んでも「本が好き」につながるの難しいと感じています。また、小学校からデジタル化の流れがあり、その時間も少なくなる可能性が高いです。学ぶときに、簡単に答えが出るデジタルと同じくらい、本にも価値があり、子供の選択肢の中に自然と本が出てくるということが、文化が根付いた形の一つかなとイメージしています。本は勉強の一部ではありますが、そうではなく、人生のサポーターになればいいなあと思いました。自分自身も、こんなご時世だからこそ、本や新聞等活字をとおして豊かになりたいと思います。
- 地域づくり、教育、人権の研修が、地域住民のみなさんでできると良いと思います。
- 強制するのではなく、環境づくりが大切だと思います。
- 読書環境の整備だと思います。読書環境は、本を綺麗にする・本を読める場所を用意するなどのハード面だけでなく、読む機会・読みたくなる仕掛けなどのソフト面両方があると思います。両輪で進められるようにしなければいけないと、現場から感じています。
- 読書を習慣化するために、身近に本と触れあう環境をつくる。スマホなど便利なものもありますが、娯楽のひとつに読書があるという選択肢を持ち続けること。子供が生まれたら、親自身が本に近づき、子供と一緒に楽しむことが大切ではないかと考えます。
- 子供に本を届ける環境整備を重点的に行ってほしいと思います。特に、義務教育課程からの、学校図書館の充実(司書・正規)の配置や書籍購入の予算増額などが必須だと感じます。
- 絵本や本が気軽にぱっと手に取れる環境づくりと、幼いときから本を楽しむ体験が大切だと思います。
- どこでも本棚を実現したいです。
- 本と触れあう環境と時間と仲間がいればいいなと思います。

- 周りの大人たちが、本の楽しさをもっと自然に子供たちに示してあげられたら良いと思います。図書館や書店の充実、読み聞かせやお話の会の地域ぐるみの推進が何よりも大切だと思います。
- 幼少期から読み聞かせや本に親しむ事が大切だと感じます。そして、なぜ読書が大切なのか(意義)を難しくないように子供たちや大人たちに説明していくことが大切だと感じます。SNS時代ではあるけれども、アナログ的な事も大切にしながら両輪で進んでいきたいものです。
- 子供の読書活動に関わる大人一人ひとりが、家庭で、保育の場で、学校で、地域で、もう少し「おせっかい」になったらいいのかもしれないと思いました。
- それに適した空間（建物）と人とシステムを、出来るだけ揃えることが必要かと。
- 私たち大人の姿勢だと思っています。笠野さんがおっしゃっていたように、現在の子供たちはスマホ、ゲームなど彼らにとって大変刺激的で魅力的なコンテンツがまわりに溢れている環境です。それを否定することなく、「読書も楽しいよ」と、一緒に読書（読み聞かせでも）することを家庭、学校、地域等あらゆる場所で自然な形で実行していけたらと思います。私の母は共働きで日中ほぼ座っているところを見たことがないような人でしたが、そんな母が夜枕元で読み聞かせをしてくれた事が私にとって宝物のような時間でした。「本を読みなさい」と言われた事はありませんが、自然に本を手取るようになりました。現在子育て中の方々も、お子様に読み聞かせをしようと思えるきっかけがあると良いのですが。まずは私たち大人が読書の良さに気づく機会が増えると良いのかなとも思います。大人も子供も読書がスマホやゲームと上手く共存できると良いなとも思います。長々と書きましたが、今回のようなフォーラムを企画、運営していただけて、和歌山の読書文化の未来は明るいと感じています。
- 大変難しいかと思いますが、学校のカリキュラムに、低学年だけではなく全学年で、読み聞かせが継続的に行われれば良いかなと思います。高学年や中学生が、低学年の子供たちに読み聞かせる経験が出来れば、素晴らしいことだなと思います。
- 食べる前に、．．．読む！！
- 本や図書館が身近に感じられるイベントや日常活動を増やす。
- 子供たちの「なぜ」「どうして」と日々生まれる知的好奇心を大切に育むために、自然に本に触れられる環境を整えることだと思います。また、読書は小説や専門書などの文字ばかりのものだけではなく、図鑑や漫画、写真集や絵本などさまざまな書物を見て、聴いて、読んで楽しむこと、それを発表できる場があること（レスポンスがあればなお良い）も大切だと、個人的に考えます。
- 有田川町のような取組を広げていくことが大切だと思います。
- 読書の環境づくり、習慣づくりが大事だと思います。親が本を読む姿を子供に見せる、暇なとき読みたいときに手を伸ばせば、そこに本がある。そんな環境づくりが重要だと思います。
- テレビやスマホ、ゲームをするように、読書を楽しむ習慣は、環境づくりが必要だと思います。幼いころより身近に魅力的な本があり、読む機会、聴く機会が生活の一部となる環境づくりが大切だと思います。
- 地道に、地域で活躍してくれるボランティアの育成。
- 読書は、赤ちゃんのころからコツコツと…が何より大事だと思います。これからも今の取り組みを大切に、更に、スマホ時代のお母さんお父さんに、絵本でも子育てを楽しめることを実践してもらえらる機会や体験を増やし、読書につなげてもらえたら嬉しいですね。
- 子供たち、市民の人たちの身近に充実した図書施設がある、機会がある、この土台がまず大切だと思います。そのためには、そういったものがどれだけ人の人生に大切なものか、という認識を県内全体に浸透させていく働きかけも必要かと思っています。
- 高校生から、小学生や幼児へのお勧め絵本をメッセージとして贈るのはどうでしょうか？
- 本のある空間。
- スマホ等を含めた「OA化」の中、良書との巡り合わせ等の機会減少と思います。特効薬はないと思いますが、家庭等の躰のなかで、少しでも大切なことを伝えていくことも可能では…。
- 和歌山県の読書の取組は素晴らしいですね。家庭・学校・地域がタッグを組んで子供たちと大人に読書の

大切さを発信し続けること。

- 学校、家庭だけでなく、地域とも連携していくことが大切だと感じました。
- 読書環境の整備が必要です。身近に本がある、読書の楽しさや素晴らしさを伝える人が近くにいる、伝える場がある、語り合う空間がある、という環境です。特に、学校図書館司書の常勤、全校配置を早急に進めていただきたいと思います。
- 子供たちを取り巻く環境がこんなにたくさんの人たちが働きかけ育む努力をしていることを、いま子育てをしている保護者の方々に伝えられれば良いと思う。一緒に育てましょう！と手を差し伸べる人たちがたくさんいることを知って欲しいしそれで子育ての悩みや不安が解消されるようになったら良いと思う。
- まずは本に触れ合うきっかけを幼少期につくることが大切だと感じています。物語を読むことは楽しく、本は自分が知りたいことを手助けしてくれるアイテムということを幼少期から意識づけていきたいです。また、図書館が居心地の良い場所であることも重要だと感じました。
- 今回、フォーラムに初参加させていただき、和歌山県さんの読書や言葉を通して豊かな子供を育てようという熱量を感じました。これからも開催を継続していくこと（開催方法は工夫して変化していくとしても）が大切なのではないのでしょうか。
- 様々な取組をやっておりますが、一番身近な地域や家庭のところで、日常生活の中で食事をする事と同じような感覚で、本が生活の中にあって話題になるようにしていくことだと思います。
- 身近に本があり、幼い子には声に乗せて本・絵本を読んであげることが大切だと思います。大人も子供も本を手に取りやすいように環境を整えていく意識を行政も住民も持ち続けて下さったらいいと思います。
- 図書館を活用することだと思います。恥ずかしながら、昨年まで和歌山市民図書館の予約システムを知らなくて全く活用できていませんでした。普段は近くの東部コミュニティセンターを利用しますが、わざわざ市民図書館や、他のコミュニティセンターに出向かなくても読みたい本を届けてもらえるし、選ぶ時間もショートカットできるし（子どもがいると自分の本をじっくり選ぶ時間がないので）で、めちゃくちゃ画期的だと感動しました。そんなシステムをまだ知らない人も結構いるんじゃないかなと思います。最近、東部の駐車場で会った子連れのお母さんには、「ここで本が借りられるんですか？」と聞かれました。図書館の使い方、活用の仕方がもっと広まれば、読書文化が根付くことに近づくのかなと思います。（たとえば、子供の〇ヶ月健診などで市の保健センターから、読み聞かせにオススメの本がのった資料をもらったことがあります。そこに親向けのおすすめの本、図書館の活用の仕方ものせるとか。）
- シンポジウムでもまとめられたように、大人との豊かな関わり、活字との豊かな関わり、この二つの環境の中に子供がいること、逆に子供の周囲にこの環境をつくるのが大切だと思います。
- コミュニティ・スクールの取組など行政とボランティア、PTA の協力がもっと必要だと思います。読み聞かせの時の子供たちの目の輝きに励まされ、20年読書と影絵のボランティアをしてきました。
- このようなシンポジウムをオンラインで開催することでたくさんの方が参加しやすくなると思います。

4 その他、お気づきの点がございましたらお書きください。

- 仕事で、地域で、学校で自分ができることを考える機会をいただくことができました。素敵な時間をありがとうございました。
- 笠野さんが和歌山放送の番組で紹介してくださったので参加しました。コロナ禍の中、いろいろと工夫して開催してくださり、ありがとうございました。山根さん、塚原さんのお話、素晴らしいものでした。来てよかったです。資料はこんなにメモのスペースいらなかったですね。研修じゃないから、メモするより聞くことに集中したいよ。手間かけてくれて感謝だけど、ムダだったかも。
- 内容はとても良かったです。和歌山に読書文化が根付くように、私も取り組んでいきたいです。
- 貴重な時間をありがとうございました。

- このような機会をいただきありがとうございました。有意義な時間でした。
- 大変有意義な時間をすごせました。ありがとうございました。
- 初めて参加させていただきましたが、楽しく、あっという間に終了時間でした。
- 図書館の大切さを改めて考えさせられました。
- オンライン配信があったことで、現場に残った職員も参加することができました。
- 配っていただいた資料内にメモができる欄を作ってくださっていたのがありがたかったです。コロナ禍でご準備や開催判断等大変な中、素晴らしい機会を設けてくださり本当にありがとうございました！また是非このようなフォーラムを開いてほしいです。
- 和歌山市駅の図書館が人気を得ています。自由に勉強して、ジュースも飲んで、今までと違った新しい形の図書館です。こういうふうな皆が立ち寄れる図書館が増えればいいのかと思います。
- 大変有意義な学びの時間となりました。準備から今までの皆様の取組が伝わり、ご苦労も多かったとは思いますが、素晴らしいフォーラムだったと思います。本当にありがとうございました。
- 読書はどんな書物でも読むことにより社会人になって「語る言葉」「文章の表現」が豊かになった。(私の経験)
- 座席の割り振り良かったです。
- 今日の運営、コロナ禍の中、オンライン視聴もできるよう、密にならないよう、席の配慮などいろいろの気配りありがとうございました。
- コロナに配慮して大きな会場で良かったと思います。
- 対面とオンラインのハイブリッドなフォーラム、お疲れ様でした。とても良いフォーラムでした。
- コロナで人が集まりづらかったこと、大変、大変残念です。もっとたくさんの方と共有したかったです。
- 今日は、会場で、生の声・言葉を聞くことができラッキーでした。会場でも実施していただき、ありがとうございました。
- 音響が素晴らしく(さすが県文)、「声」の力についての話はとても実感を持って聞いた。プロジェクトは不鮮明であったので、機器の刷新を期待したい(音に集中するにはそれでよいかもしれないけれど)。県立図書館が休館でない、ということに感動しました。私の住む市の市立図書館はまん防ですぐ休館です。まん防、図書館関係あるのか？ずっと休館、多読表彰、的外れ、不安がいっぱい、行政大丈夫か。
- 子供たちのためのこのような企画もあればおもしろいと思いました。コロナ禍だからこそその読書を推進したいものです。
- 「どこでも本棚」実現してほしいです。
- 素晴らしいフォーラムでした。参加できてよかったです。
- 子供たちにはいろいろな経験を積んで五感をきたえる、体験できる場を増やしてあげたいですね。
- 県内各校で読書タイムの時間(週に一度放課後20分ほど)を設定する等、読書の時間の確保を義務付けてみてはどうか。終了時間は、きちんと守って欲しいです。
- 「○○フォーラム」開催時は○○の専門性ある方が多いですが、時代は「多様性」、「持続可能性」がキーワードでもあり、いろいろな方々の参加を期待したいです。
- テレビ和歌山でビブリオバトルを中継したらおもしろいと思う。企画した人が自ら楽しいと思える取組。
- 有田川町の施策はとても参考になりました。
- 参加して、とても勉強になりました。大変有意義な時間を共有させていただき、本当にありがとうございました。
- 本日学んだことを多くの方々に伝え、社会全体で取り組んでいけるようにしたいと思いました。
- 読み聞かせ団体「よむよむ」の伊藤さんからこの会への参加のお知らせをいただきました。とても勉強になった時間でした。ありがとうございました。
- 楽しい時間でした。ありがとうございました。
- 今回、YouTube配信という新しい形で受講しましたが、このような配信形式であれば、気軽に参加でき

る方も多いのかなと感じました。家庭教育講座などもこの形の配信ができれば他市町の参加も可能になるので、検討したいです。この度は素晴らしいフォーラムを開催いただき、ありがとうございました。

- 今回のフォーラムはとても中身の濃い素晴らしい内容でした。ぜひ、第2弾(できれば山根先生にもお越しただいて)を期待しています。
- 読書ボランティアが「しんどい家庭」の学校現場での赤裸々な姿を知る機会が必要だと思います。そのうえでボランティアが「自分のできること」を大切に活動していけるようにその存在価値を考えていきたい。図書館やおはなし会に参加できる子供は良いほうであって、教育現場は忙しく、しんどい子に目が届きません。自分自身がしんどい子に関わって変わっていったことや、発見の機会を得たことなどがあります。地域ボランティアと学校がもう少し情報共有してお互いの「ベクトル」を一致させるコミュニケーションを持ちたいです。県教委の取り組みは、いつも現場とボランティアへの視点大切にしてくださっています。この思いがもっとたくさんの方々に伝わればと思います。今回のフォーラム、本当にありがとうございました。
- 藤田先生、このような素晴らしいフォーラムをご紹介いただきありがとうございました。(第6期生やまねっ子です)
- 今日のフォーラムは中身が濃くて大変満足できました。ありがとうございました。
- 保育園、幼稚園、小学生など、幼少期からの読書習慣を育てることが大事です。問題は中学時代になると、途端に読書離れが始まること。部活動と読書とをペアで考え、共存させる方策を考えるべきです。
- やまねこ朗読会を通して、このフォーラムを知りました。コロナ禍でより慎重な行動を心掛けておりますので、オンラインでも参加出来る様ご準備頂きましたこと、感謝申し上げます。
- とても充実したフォーラムでした。本当は会場に行かせてもらいたかったのですが、感染症拡大のため、オンラインで参加させてもらい良かったです。
- このような機会をいただきましてありがとうございます。本会場に参加したかったです。
- YouTube で参加させていただきました。音声が大変クリアであったため、『ごんぎつね』の朗読には感動しました。「アート」としての言葉の力に圧倒されました。
- 幼児期のことばの力は、学齢期にも大人にもつながっていくものだと改めて感じました。
- 今日のシンポジウムにご出演の皆様は、それぞれのお立場からとても良いご意見を述べていただいたと思います。司会の笠野さまもスムーズな進行をされ、コーディネーターの藤田さまは、プロのような心地よい話し方で上手に意見を引き出し、まとめてくださったと感心しました。オンラインなので聴こえにくいのではと心配したのですが、ハッキリ伝わりました。有難うございました。
- フォーラムは、読書の価値を問い直す機会となりありがたかったです。欲を言えば、和歌山の読書フォーラムですので、和歌山で読書文化を根付かせようとしている有田川町の話や、その人物、あるいは学校や園での取組を知りたかったです。それが無いということは正しくまだ読書が根付くまちにはなっていないのかなと感じました。フォーラムをきっかけに現場が動き、様々な機関が協働して活動することが大切に感じました。有名な方の話で終わりにしたくないなぁと思いました。先日、伏虎義務学校で市民図書館とコラボした授業が展開されていました。子供にとって本や図書館が身近になる活動の一つだなぁと思いました。
- 今日の山根先生の講演をもう一度聴くことができるように、アーカイブ配信を希望します。また、今日の講演を地域の生涯教育の講座等で、取り扱いができるといいと思いますが、色々な事情がありダメなのでしょうね。
- 本好きの子供を育てるためには、子供の性格にもよると実感しています。例えば動くのが好きな子はじっとして本を読むのが苦手ですし、会話も少ないです。一方でおっとりとした子では、動くのが苦手な分じっと本を読む方が良いでしょう。本をたくさん読むとやはり語彙力も高く、図書館で本を選ばせるとしっかりストーリーのある本を選びます。これらは実際の子育ての中で得た経験ですが、今後も今日の講演を心に留め、微力ながらも我が子へそして地域の子供たちへ読書文化を根付かせていきたいと思っています。

- オンライン視聴で参加しました。会場へ赴くより、参加のハードルが下がって、とてもありがたかったです。今後もこのような形式で続けて頂けたらと思いました。フォーラムを数年ぶりに拝見しましたが、趣旨やテーマについて、登壇者が変わっただけで、内容や着地点があまり変わっていない（毎年同じようだと感じる）ことが、大変残念です。今回のフォーラムそのものに対して不満があるわけではないですし、登壇者の方の話はどれも納得できます。例えばフォーラムの開催時期にあわせて、事前情報が掲示されていたらと感じます。事前情報というのは、和歌山県の読書環境が今どの位置にあって、どこに伸びしろがあると考えられるのか、何を達成したのか、俯瞰的で市民にも伝わるわかりやすい情報を知りたいと感じます。その上でフォーラムの紹介があれば、参加する意欲が湧きますし、例え参加が叶わなくても、学びや行動のきっかけにつながると思っています。できれば、HPなどインターネット上に専用のページがあって、フォーラムの変遷が分かったり、今までの取組を辿れるようになっていたらと思っています。付近の地域で受けられるサービスには何があるのか、地域でどういう取組があるのか、学校教育の整備状況など整理されていたらと思っています（埼玉県の図書館と県民のつどいを先日拝見しましたが、とても良かったです）。
- 県立や市町村立の大きな図書館も必要だけれども、地域ごと（中学校区ぐらい？）に気軽にいける小さな図書館があればいいなと思っています。土日に運動場や体育館を開放しているように、学校図書館も開放できたらいいなと思いました。管理の問題があるので、地域の読書ボランティア団体等の協力が必要ですが。
- 自分には何ができるかなと考えてわくわくしました。
- 良い機会を与えてくださりありがとうございました。今回のフォーラムで得たことを地域に伝えていきます。
- 素晴らしいフォーラムでした。ありがとうございました。
- 感動あり、笑いあり、学びあり、気づきあり、のメリハリの効いたプログラム構成で、最後まで居眠りする事なく楽しませていただきました。関係者の皆様、たいへんお疲れ様でした。どうもありがとうございました。
- この度、配信で参加ができて本当に感謝でした。この講座を山根先生関係の皆様からのお誘いがあったこと心から感謝しています。志のある方々にもっと共有していきたいです。コロナの情勢下、講座開催をしていただき、配信の参加へと計画してくださりありがとうございました。
- とてもいいシンポジウムでした。多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。
- テーマに沿った人選がなされていてよかった。
- せっかくの読書推進フォーラムですが、新型コロナウイルスの影響で、会場を一杯にすることができず残念に思いました。ただ時間超過が残念です。
- コロナ禍での運営、大変だったと思います。開催ありがとうございました。
- コロナ禍の中で難しい運営であったと思いますが、おつかれ様でした。
- 内容が大変良かったので、たくさんの人たちが参加できる周知の仕方を再考してください。
- ありがとうございました。毎回和歌山市や田辺市に行くのは大変なので、状況関係なく、今回のような開催をしてもらえたらな、と思いました。
- コロナがなければ…と思いますが、地域的にサテライト会場は良いプランでした。足が痛いので、エレベーターが必要でした。
- オンラインでの参加でしたが、会場での参加が不可能でしたので、大変良かったです。ただ、白熱したのか、少し時間的に長かったように思いました。
- 会場まで行くのはためらっていたのですが、ライブ配信で参加できて良かったです。
- オンラインありがたいです。オンラインがなければ、今日は病院へ行くか、フォーラムに参加するかの2択でした。おかげでどちらも叶いました。コロナ禍が生んだ副産物のオンライン、もっと広まるといいですね。
- 素晴らしい企画をありがとうございました。YouTube 拝聴大変ありがたかったです。
- アトラクションにもう少し時間が欲しかった。

- 開催方法にオンラインを加えていただきありがとうございました。ライブ配信を視聴することができ、安心してまた充実した講演を聴くことができました。きっと会場内の感染対策等、たくさんのご配慮とご準備があったと思うのですが、柔軟に対応していただけて感謝しています。
- 今回、リモートでの参加もできるようになりましたこと、とても良かったと思います。研修会なども、このような形式を取り入れると参加しやすくなると思います。ありがとうございました。
- コロナ禍の中、有意義な大会の準備並びに運営ありがとうございました。
- 貴重な会をオンラインでも聴講できるよう開催してくださりありがとうございました。
- 子育て中なので、オンラインで参加させてもらえるのは本当にありがたかったです。今後もオンライン参加が可能な研修が増えると嬉しいです。
- コロナのこのような時期に、家でこのような講演を聞く機会をいただきありがとうございました。カメラの位置など考えていただけたらもっと良かったと思います。
- はじめてオンラインにて講演会に参加しました。コロナで会場参加したかったのですが。再配信希望です。また、会場で配布した資料があれば、郵送していただければ幸いです。和歌山県のこれからの読書推進を願っています。
- ご準備は大変だったと思うのですが、オンライン配信も取り入れてくださったおかげで会場へ行けない者も拝聴できて、大変ありがたかったです。どうもありがとうございました。
- コロナ禍の中でこのイベントを開催していただきありがとうございました。スタッフのみなさんに感謝いたします。また、配信をしてくださりありがとうございました。
- 今回はオンライン配信があり参加できました。ありがとうございます。次回からもオンライン配信があるととてもありがたいです。よろしく願いいたします。
- ハイブリッドの準備は大変だったかと思いますが、勉強する機会をいただけたことを感謝します。今回は、オンラインでの参加でしたが、次はぜひ、直接お話を聞きたいと思います。ありがとうございました。
- たくさんの気づきと明日への読書活動へのヒントをいただきました。オンライン配信ありがとうございました。
- オンライン配信があったため拝聴することができました。ありがとうございました。
- オンラインでも開催していただけたお陰で、参加できて良かったです。どうも有難うございました。
- WEB 配信をしてくれたので、見ることができ、良かったです。ありがとうございました。
- コロナ禍の中、YouTube で参加でき、大変良かったです。
- 素晴らしいフォーラムを開催してくださりありがとうございます。オンラインのお陰で全てではありませんが参加することができました。たくさんの方々へ声かけして下さった伊藤松枝さんのお心にも感謝申し上げます。
- オンライン配信のお陰で有意義な時間を過ごせました。本当にありがとうございました！
- このような素晴らしいフォーラムの情報がもっと広く広報され、行き届けばと思います。
- オンライン配信のおかげで、参加することができました。
- コロナ禍での開催方法等苦慮された事と思います。このような機会をありがとうございました。
- メールのやりとりありがとうございました。
- 今回は、オンラインでフォーラムに参加させていただきました。受講できてよかったです。ありがとうございました。会場設営の関係で難しかったのかもしれませんが、塚原先生の講演とシンポジウムは正面からの映像を見たかったです。